

3. 帰国研修員に対する質問紙

(1) 原文(中国語)

1987年1月 日

諸位「中国経営管理講座」畢業生們

国際協力事業団 (JICA)
研修事業部長
岡部 和夫

懇請「中国経営管理講座」の諸位畢業生們

对掌握學習效果の内容調査付以

全力支持，並敬請諸位共同合作

敬 啓 者：

正值新春，恭賀諸位新年好！

本国際協力事業団得到財団法人 日本生産性本部の協助，自1980年来，
每年均得实施上述講座，在此，敬祝諸位畢業生們，日益安康，在業務上精益求精。

本国際協力事業団年々均在努力擴大及改善技術訓練的計畫。自1954年迄
1986年12月止，本国際協力事業団已培訓了一大批来自世界各国的研究生。
1986年度，就曾舉辦226種，各種各樣的講座、培訓班等，来自世界各国的
研究生達4,900名。「中国経営管理講座」自1980年第1期開辦以来，
每年均在日本生産性本部的協助下，很成功地能繼續实施，目前，包含1986年
的畢業生，總共有126位，散居在中国各地為四大現代化建設活躍著。

每当檢討本「中国経営管理講座」今後的計畫時，我們越發感到，不僅應努力
擴大研究生的人數，還更應尽力改善講座的内容。

此故，我們想具体了解本「中国経営管理講座」的畢業生們，如何将在日本学到的
知識、經驗等成果应用在那些方面？应用的程度如何？又，諸位畢業生們对本
講座有何感想、意見等，懇請不吝批評、指教！

隨信附上的調查表，是用來具體了解從第1期至第7期的「中國經營管理講座」的畢業生們的現狀、學習成果的活用及影響效果等，同時，更想具體了解中國企業的現狀及經營管理上的重點改善項目，根據此調查結果來改善今後的「中國經營管理講座」的內容。因此，調查表的內容、答案，並不影響諸位的功績，也與晉昇賞罰、人事調動等，完全無關。遂懇請以坦白的方式填寫。

☞：請將填好的調查表，在指定的日期內，準時交到指定的地方為荷！

希望能達成此調查表的目的，懇請諸位有關單位人員，賜與指導、指教！
由衷感謝諸位的合作，謝謝大家。

國際協力事業團 (J I C A) 主辦
對中國經營管理講座畢業生實施的
學習效果調查表

添表注意事項：請用中文正楷添寫下列所有問題

1. 姓名：_____ (拼音：) _____
2. 性別：_____ 3. 出生年月日：19__年__月__日生
4. 畢業年度：19__年度 (第__期)
5. 參加講座前的服務單位名：_____
- 地址：_____ 省 (特別市·自治區)
_____ 市 (縣)
- 電話：_____ (轉_____) _____
- 參加講座前的職位：_____
6. 現在的服務單位名：_____
- 在職期間：19__年__月~現在
- 地址：_____ 省 (特別市·自治區)
_____ 市 (縣)
- 電話：_____ (轉_____) _____
- 現在的職位：_____
7. 回國後最先的服務單位名：_____
- 在職期間：19__年__月~19__年__月
- 地址：_____ 省 (特別市·自治區)
_____ 市 (縣)
- 電話：_____ (轉_____) _____
- 職位名：_____
8. 其他的服務單位名：_____
- 在職期間：19__年__月~19__年__月
- 地址：_____ 省 (特別市·自治區)
_____ 市 (縣)
- 電話：_____ (轉_____) _____
- 職位名：_____

1. 回答問題時, 應注意事項:

- (1) 請充分理解問題的內容之後, 將你認為最適當的答案前的 裏圈 記號。
- (2) 下列問題除特別指定的問題之外, 請只選擇 1 個答案, 並以簡潔、明記要點的方法回答敘述問題。
- (3) 請勿漏掉任何題目, 回答所有問題。

2. 此調查表只用於掌握學習效果的內容調查, 個人的答案保證決不向外公開。

請回答下列問題

問題 1:

你在「中國經營管理講座」所學的知識・經驗, 與你的工作有關連嗎?

- (1) 完全沒有關連。
- (2) 多少有點關連。
- (3) 關連相當大。

問題 2:

你在「中國經營管理講座」所學的知識・經驗, 有機會向你的服務單位以外的人推廣嗎?

- (1) 完全沒有機會。
- (2) 偶爾有機會。 —→ 答(2)的人, 請繼續回答下面的問題。

(2) 你用什麼方法推廣你所學的知識和經驗?

- ① 發表論文。發表次數: _____ 次, 合計字數 _____ 字
論文題目: _____

- ② 舉辦研究會、演講會、討論會等。
舉辦次數: _____ 次, 合計聽講人數: _____

- ③ 其他: (請具體說明。)
- [

問題 3 :

你在「中国經營管理講座」所學的知識・經驗，能應用在你的工作上嗎？

- (1) 完全不能應用。
 (2) 多少能應用。
 (3) 能應用的地方相當多。 } →答(2)或(3)的人，請繼續回答下面的問題。

你如何應用？應用在什麼地方？

- ① 改善工作的做法。合計次數：_____次

題目：_____

- ② 指導部下或後輩。指導次數：_____次，合計人數：_____人

- ③ 諮詢診斷指導。指導次數：_____次，合計人數：_____人

題目：_____

諮詢診斷企業・工場名：_____

- ④ 其他：(請具體說明。)

[

問題 4 :

你曾活用「中国經營管理講座」的教材嗎？

- (1) 完全沒有活用的機會。
 (2) 多少活用一點。
 (3) 經常活用。 } →答(2)或(3)的人，請繼續回答下面的問題。

(2) (3) 你常活用教材的那些部分？此問題沒有限制答案的數量，請任意添寫並將主題寫下。

- ① 市場營銷 ② 人事勞務管理 ③ 經營戰略

主題：

主題：

主題：

[

[

[

- ④ I E 生產管理 ⑤ 財務管理 ⑥ 情報管理

主題：

主題：

主題：

[

[

[

- ⑦ 其他：(請具體說明。)

主題：

[

問卷 5 :

你認為在「中國經營管理講座」中所學的知識·經驗，尚有不充分滿足的地方嗎？

- (1) 已經充分滿足了。
- (2) 還不能充分滿足。
- (3) 完全不能滿足。
- 答(2)或(3)的人，請繼續回答下面的問題。

(2) (3) 那些部分不能充分滿足？此問題沒有限制答案的數量，請任意添寫並將主題寫下。

- | | | |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> ①市場營銷
主題：
[] | <input type="checkbox"/> ②人事勞務管理
主題：
[] | <input type="checkbox"/> ③經營戰略
主題：
[] |
| <input type="checkbox"/> ④ I E 生產管理
主題：
[] | <input type="checkbox"/> ⑤財務管理
主題：
[] | <input type="checkbox"/> ⑥情報管
主題：
[] |
| <input type="checkbox"/> ⑦其他：(請具體說明。)
主題：
[] | | |

問卷 6 :

你在「中國經營管理講座」所學的知識·經驗，經常與同事或友人討論嗎？

- (1) 完全沒有。
- (2) 偶爾有。
- (3) 經常討論。

問卷 7 :

你在回國後，也經常學習「經營管理」方面的課程嗎？

- (1) 沒特地學習。
- (2) 多少學習一點。
- (3) 經常學習。

問題 8 :

当你在經營管理方面發生問題、疑問或者遇到困難時，你如何解決？

- (1) 放在一邊，不管它。
- (2) 與同事、友人或周圍的人共同研究。
- (3) 查教材、參考書等資料。
- (4) 其他。（請具體說明。）

[

問題 9 :

你認為在中國的企業管理（經營管理）現代化裏，當前最重要的課題是什麼？
請從下面的部門裏，按照重要性的順序，選出你認為最重要的3項。
倘若你認為必要說明的話，請寫在括弧裏。

- | | | |
|--|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 提高生產性 | <input type="checkbox"/> 2. 生產管理技術 | <input type="checkbox"/> 3. IE技巧 |
| [| [| [|
| <input type="checkbox"/> 4. 市場營銷 | <input type="checkbox"/> 5. 人事·勞務管理 | <input type="checkbox"/> 6. 財務管理 |
| [| [| [|
| <input type="checkbox"/> 7. 企業組織開發 | <input type="checkbox"/> 8. 工場長教育 | <input type="checkbox"/> 9. 管理幹部教育 |
| [| [| [|
| <input type="checkbox"/> 10. 車間長、工段長教育 | <input type="checkbox"/> (1) 職工教育 | <input type="checkbox"/> (2) 技術革新 |
| [| [| [|
| <input type="checkbox"/> 13. TQC 小組活動 | <input type="checkbox"/> 14. 經營計畫 | <input type="checkbox"/> 15. 經營戰略 |
| [| [| [|
| <input type="checkbox"/> 16. 人事制度 | <input type="checkbox"/> 17. 調動積極性 | <input type="checkbox"/> 16. 開發新產品 |
| [| [| [|
| <input type="checkbox"/> 19. 設備革新 | <input type="checkbox"/> 20. 降低成本 | <input type="checkbox"/> 21. 品質管理 |
| [| [| [|
| <input type="checkbox"/> 22. 經營情報系統 | <input type="checkbox"/> 23. 預算管理 | <input type="checkbox"/> 24. 利潤管理 |
| [| [| [|
| <input type="checkbox"/> 25. 其他：（請具體說明。） | | |
| [| | |

問卷是題 1 0 :

在你的服務單位裏，最加緊努力改善的企業管理（經營管理）課題是什麼？
請從下列項目中選出 1 項，並明記內容。

例： (6) 人事勞務管理 [樹立人事考核制度，並以評審能力來結合待遇制度、調動積極性、能力開發等的運用。]

(1) 企業的綜合性
管理制度 []

(2) 生產管理 []

(3) 財務管理 []

(4) 經營戰略 []

(5) 市場營銷 []

(6) 人事勞務管理 []

(5) 其他 []

問卷是題 1 1 :

對於經營管理的學習問題，今後，你對日本政府或 J I C A 有什麼希望？

(1) 希望學習有關經營管理方面的專門知識。

(2) 派遣專家做定期的巡迴指導。

(3) 舉辦短期的講座、演講會、討論會。

(4) 提供教材。

(5) 其他 ()

問卷是頁 1 2 :

你回國後, 經常與「中國經營管理講座」的同學、學兄、學弟等來往交流嗎?

- (1) 完全沒有。
- (2) 偶爾有來往。
- (3) 經常有來往交流。

問卷是頁 1 3 :

你回國後, 經常有使用日語的機會嗎?

- (1) 完全沒有。
- (2) 偶爾有機會。
- (3) 經常有使用機會。

問卷是頁 1 4 :

你回國後, 還繼續在學習日語嗎?

- (1) 完全沒有。
 - (2) 多少學習一點。
 - (3) 正加緊努力繼續學習中
- ⇒ 答(2)或(3)的人, 請繼續回答下面的問題。

(2), (3)你用什麼方法、手段學習?

- ① 接受電視或收音機等的函授教育。
- ② 大學或專門學校的日語課程(日間部、夜間部)。
- ③ 向周圍的日本人學習。
- ④ 服務單位裏有日語研究班。
- ⑤ 自學。
- ⑥ 其他 ()

寫真 1 5 :

請自由發揮你对参加「中国经营管理講座」學習後的感想、意見等。
(任何感想、意見都可以)

問題 16 :

你需要我們為你傳話給在日本的老師、友人嗎？假若有的話，請以正楷明記下列事項。

姓 名	
職 位 名	
服務單位名	
服務單位地址	
服務單位電話	
自 宅 地 址	
自 宅 電 話	

※ 無法連絡之時，請原諒。

--

♡♡ 感謝各位的合作。

(2) 日 本 語 訳

1987年1月19日

中国経営管理コース卒業生
先生

国際協力事業団 (JICA)
研修事業部長
岡 部 和 夫

中国経営管理コース帰国研修員に対する
アンケート調査へのご協力方お願い

拝 啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当事業団が財団法人 日本生産性本部のご協力を得て、1980年以降毎年実施した標記コースの卒業生の皆様には、益々ご健勝にて業務にご精励のことと拝察致します。

国際協力事業団は、技術訓練計画の拡大と改善に年々努力して参りました。1954年から1986年10月までの間に各国から受入れた研修生は60,000名に達しました。1986年度は226の各種コースやセミナーを開催し、約4,900名の方々を我が国に迎え入れました。ちなみに、中国経営管理コースについては、1980年の第1回コース以来、毎年、日本生産性本部のご協力により成功裡に継続実施して、1986年度コースの終了者を含めて現在126名の卒業の方々が中国各地で活躍しております。

本コースの今後の計画を検討するに当たり、我々は中国の要請に応えるべく受入人数の拡大ばかりでなく、研修コースの内容の改善についても努力する所です。

そのために、我々は本コースの卒業生の方々が日本で得た学習成果をどの程度にどの様に活用しているか、また、コース内容の改善についてどの様なご意見やご提案をお待ちかをうかがいたいと願っております。

同封の質問書は、中国経営管理コースの第1期生から第7期生までの卒業生の方々の現状、研修成果の活用及び波及効果等を把握すると共に、中国企業の現状及び経営管理上の重点改善項目について理解を深め、今後の中国経営管理コースの改善に役立てようとするものです。従って、この質問書に記入した解答は、皆様の業績、昇進、昇格、賞罰に一切関係はありませんので、遠慮なく自

分のお考えを率直に記入して下さい。

あなたが記入した質問書は、指示された日付までに指示された処に必ず提出して下さい。

この質問書の使命が十分に達成出来ますように、関係各位のご指導、ご協力を折にお願い致します。

敬 具

国際協力事業団（JICA）主催
中国経営管理コース卒業生に対する
質 問 書

注意：下記の事項には、すべて中国語で記入して下さい。

1. 氏 名： _____（英字綴）
2. 性 別： _____ 3. 生年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日生
4. 卒業年度： 19 _____ 年度（第 _____ 期生）
5. 受講時の所属機関名： _____
（所在地）： _____ 省（特別市・自治区）
_____ 市（県）
（電話番号）： _____
（受講時の所属部署および役職）： _____
6. 現在の所属機関名： _____
（在職期間： 19 _____ 年～現在）
（所在地）： _____ 省（特別市・自治区）
_____ 市（県）
（電話番号）： _____
（所属部署および役職名）： _____
7. 前の所属機関名： _____（現職につく前の職務）
（在職期間： 19 _____ 年～19 _____ 年）
（所在地）： _____ 省（特別市・自治区）＜現職と同じなら省略可＞
_____ 市（県）
（所属部署および役職名）： _____
8. 前々の所属機関名： _____
（在職期間： 19 _____ 年～19 _____ 年）
（所在地）： _____ 省（特別市・自治区）＜現職と同じなら省略可＞
_____ 市（県）
（所属部署および役職名）： _____

以下の質問に答えて下さい。

1. 記入上の注意

- (1) 質問の内容を十分に理解して、該当する^(番号)の頭にある□の中に○印をつけて下さい。
 - (2) 特に数を指定していない質問については、一つの該当項目のみに○印をつけて下さい。
 - (3) 記述を求めている質問については、簡潔に要点を中国語で記述して下さい。
 - (4) 質問表の質問をとばさずに、全部の質問に回答を記入して下さい。
2. この質問表は集計に使わせて戴きますが、個人の回答内容を外部に公開することはありません。

質問1. あなたが「中国経営管理コース」で修得した知識や経験と、現在のあなたの仕事との関連をお聞きします。

- (1) 現在の仕事と中国経営管理コースで修得した知識や経験とは全く関係がない。
- (2) 多少関係がある。
- (3) 大いに関係がある。

質問2. あなたが「中国経営管理コース」で勉強した知識や経験を職場外の人々に普及させる機会についてお聞きします。

- (1) 普及させる機会は全くなかった。
- (2) 普及させる機会があった。

↓
(2)に答えた方は続いての質問に答えて下さい。

↓
質問2' その機会はどうなりましたか。

① 論文の発表 ◦ 発表回数 _____ ◦ 合計字数 _____

② セミナー・講演会・討論会

◦ 出演回数 _____ ◦ 合計対象者数 _____

③ その他 ◦ 具体的に記して下さい。

質問 3. あなたの「中国経営管理コース」で勉強した知識や経験のあなたの仕事での活用についてお聞きします。

- (1) 全く活用していない
- (2) 多少は活用している
- (3) 大いに活用している

(2)または(3)に答えた方は続いての質問に答えて下さい。

質問 3' その活用の内容についてお聞きします。

- (1) 職場のシステムの改善 ◦ 合計回数 _____ ◦ テーマ: _____
- (2) 職場の部下・後輩の指導 ◦ 合計対象者数 _____ ◦ テーマ: _____
- (3) 企業診断指導 ◦ 合計回数 _____ ◦ 合計対象従業員数 _____
- (4) そ の 他 ◦ 具体的に記して下さい

質問 4. 「中国経営管理コース」のテキストの活用についてお聞きします。

- (1) 全く活用していない。
- (2) 多少は活用している。
- (3) 大いに活用している。

(2)または(3)に答えた方は続いての質問に答えて下さい。

質問 4' その活用はテキストのどの分野かお聞きします。“分野”の数に制限はありません。

「主題」も記入して下さい。

- ① I E・生産管理
主題
- ② マーケティング
主題
- ③ 人事・労務管理
主題
- ④ 財務管理
主題
- ⑤ 情報管理
主題
- ⑥ 経営戦略
主題
- ⑦ その他
具体的に記入して下さい。

質問5. あなたの「中国経営管理コース」の学習成果についてお聞きします。

- (1) 不足である。
- (2) 多少不足である。
- (3) 充分である。

(1)または(2)に答えた方は続いての質問に答えて下さい。

質問5' その不足はどの分野かお聞きします。“分野”の数に制限はありませんが、不足度の高い順番を□の中に入れて下さい。

<input type="checkbox"/> ①マーケティング 主題	<input type="checkbox"/> ②人事・労務管理 主題	<input type="checkbox"/> ③経営戦略 主題
<input type="checkbox"/> ④I E・生産管理 主題	<input type="checkbox"/> ⑤財務管理 主題	<input type="checkbox"/> ⑥情報管理 主題
<input type="checkbox"/> ⑦その他 具体的に記入して下さい。		

質問6. あなたは「中国経営管理コース」で勉強した知識や経験を同僚や友人と討論しているかお聞きします。

- (1) 全く討論しない。
- (2) 多少は討論する。
- (3) 大いに討論する。

質問7. あなたは帰国後も経営管理の学習を続けているかお聞きします。

- (1) 特に勉強はしていない。
- (2) 多少は勉強している。
- (3) 大いに勉強している。

質問 8. あなたは経営管理上の問題や疑問が発生した場合どのような方法で解決しているのかお聞きします。

- (1) そのまゝに放置する。
- (2) 友人や周囲の人に聞く。
- (3) テキスト、参考書で調べる。
- (4) その他

具体的に記入して下さい。

質問 9. あなたが中国の企業管理（経営管理）の現代化の課題として最も重要と思われるものを下記から選択して下さい。重要な項目を3つ選択して□の中に1, 2, 3.と重要度の順番を記入して下さい。なお()の中に説明が必要でしたら記入して下さい。

<input type="checkbox"/> ① 組織開発	<input type="checkbox"/> ② 生産管理技術	<input type="checkbox"/> ③ I E 技法	<input type="checkbox"/> ④ マーケティング
<input type="checkbox"/> ⑤ 労務管理	<input type="checkbox"/> ⑥ 財務管理	<input type="checkbox"/> ⑦ 生産性向上	<input type="checkbox"/> ⑧ 経営者教育
<input type="checkbox"/> ⑨ 管理者教育	<input type="checkbox"/> ⑩ 職長教育	<input type="checkbox"/> ⑪ 作業員教育	<input type="checkbox"/> ⑫ 技術革新
<input type="checkbox"/> ⑬ T Q C 活動	<input type="checkbox"/> ⑭ 経営計画	<input type="checkbox"/> ⑮ 経営戦略	<input type="checkbox"/> ⑯ 人事制度
<input type="checkbox"/> ⑰ モラル・アップ	<input type="checkbox"/> ⑱ 製品開発	<input type="checkbox"/> ⑲ 設備革新	<input type="checkbox"/> ⑳ 原価低減
<input type="checkbox"/> ㉑ 品質管理	<input type="checkbox"/> ㉒ 経営情報システム	<input type="checkbox"/> ㉓ 予算管理	<input type="checkbox"/> ㉔ 利益管理
<input type="checkbox"/> ㉕ その他			

具体的に記入して下さい。

質問10. いま、あなたの企業（職場）で一番力を入れて実施している経営管理の改善課題についてお聞きします。

下記の項目の1つの□の中に○印をつけ、その内容を具体的に記入して下さい。

記入例	<input checked="" type="checkbox"/> (6) 人事・労務管理 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> 人事考課制度の確立をして能力評価による処遇制度を 運用してやる気を起こさせ、能力開発に結びつける。 </div>
-----	---

- ① 総合管理システム { }
- ② 生産管理 { }
- ③ 財務管理 { }
- ④ 経営戦略 { }
- ⑤ マーケティング { }
- ⑥ 人事・労務管理 { }
- ⑦ その他 { }

質問11. 経営管理の学習について、今後日本政府やJICAに対して、どんなご希望がありますか？

- (1) 経営管理に関する専門知識を勉強した。
- (2) 専門家による巡回指導。
- (3) 短期セミナー、講演会、討論会の開催。
- (4) 教材の提供
- (5) その他

質問12. あなたの帰国後の「中国経営管理コース」の同期生や、先輩・後輩との交流についてお聞きします。

- (1) 全く交流がない。
- (2) 多少の交流がある。
- (3) 大いに交流をしている。

質問13. あなたの帰国後の日本語を使う機会についてお聞きします。

- (1) 全く使う機会がない。
- (2) 多少はある。
- (3) 大いに使う機会がある。

質問14. あなたの帰国後の日本語の学習についてお聞きします。

- (1) 全く勉強していない
- (2) 多少は勉強している
- (3) 大いに勉強している。

↓
(3)に答えた方は続いて質問に答えて下さい。

↓
質問14' その勉強の手段についてお聞きします。

- ① テレビやラジオの通信講座を受けている。
- ② 大学(夜間)や専門学校に通っている。
- ③ 身辺にいる日本人にならっている。
- ④ 職場に日本語の研修会がある。
- ⑤ 自習で行っている。
- ⑥ その他 ()

質問15. あなたの「中国経営管理コース」の受講感想、ご意見、ご提案をお聞かせ下さい。

何でも結構であります。

是非具体的に記述して下さい。

質問16. あなたに日本のどなたかにメッセージがありましたらお書き下さい。
どなたでもかまいません。お伝えしたいと思います。

氏名	
役職	
勤務先機関名	
勤務先所在地	
勤務先電話	
自宅住所	
自宅電話	

※ 上記の全部が解らなくとも可能なかぎりメッセージをお伝えします。

<p>・メッセージ</p>

有難うございました。ご協力心より感謝申し上げます。

4. 質問紙調査集計結果

国際協力事業団（JICA）主催

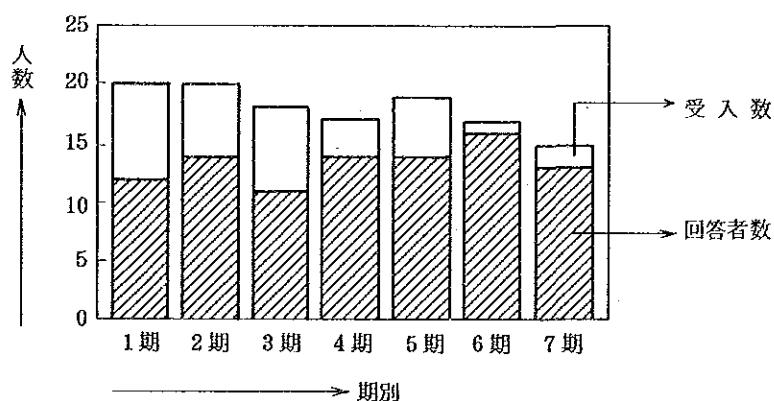
対中国経営管理講座卒業生実施的学習効果調査表

I アンケート調査の要領

1. 調査目的 — 1980年の第1期生から1986年第7期まで126名の講座帰国研修員が巣立った。卒業生の活躍の実態をとおして研修成果がどう活用され、中国企業の近代化に寄与しているかを知るのが基本的な目的である。
2. 調査対象 — 中国「経営管理講座」帰国研修員126名
3. 調査方法 — 「アンケート調査表」一別紙一を送付し、記入後郵送回収・記名式・中国語。
4. 調査期間 — 1987年1月から1987年3月。
5. 調査協力 — 中国企業管理協会ならびに関係機関。
国際協力事業団北京事務所。
日本生産性本部。

6. 回収状況 —

年度・期	受入数	回答者数	回収率
1980 1	20人	12人	60.0%
1981 2	20	14	70.0
1982 3	18	11	61.1
1983 4	17	14	82.4
1984 5	19	14	73.7
1985 6	17	16	94.1
1986 7	15	13	86.7
合計	126	94	74.6



II 調査表の集計・分析

問題 1 :

あなたが「中国経営管理コース」で修得した知識・経験と現在のあなたの仕事についてお聞きします。

你在「中国経営管理講座」所學的知識・經驗、与你的工作有關係嗎？

<input type="checkbox"/>	(1) 現在の仕事と全く関係がない。 完全沒有關係。	0人	0%
<input type="checkbox"/>	(2) 多少関係がある。 多少有点關係。	20	21
<input type="checkbox"/>	(3) 大いに関係がある。 關係相当大。	74	79
	計	94	100

回答者数 94人

→	1期	2人	
→	2期	1人	
→	3期	1人	
→	4期	6人	* (2)に回答した人の期別構成 この期に集中。
→	5期	5人	
→	6期	4人	
→	7期	1人	

↓
(2)に回答した人の勤務先・職種

勤務先区分	職 種	人 数
研 究 所	・研究室主任 ・工場研究所々長	2人
生 産 工 場	・副廠長 ・企業管理副処長の質量・管理処副処長 ・品質管理科長 ・車間主任 ・副工場長(アルミ)	6
公 司	・不明 ・経営管理部副主任	2
行 政	・党書記 ・石油管理局企業管理処副処長 ・交通-安全科長 ・経済委員会副処長 ・訓練センター主任 ・エンジニア ・経済委員会車部 ・計量局長 ・経済委員会企業管理科員 ・通信部長	10
計	—	20

問題 2 :

あなたが、「中国経営管理コース」で学習した知識・経験を職場や外部の人達に普及させる機会
はありましたか。

你在「中国経営管理講座」所学的知識・經驗、有機會向你的服務單位以外的人推廣嗎？

<input type="checkbox"/>	(1) まったくなかった。 完全没有機會。	1人	1%
<input type="checkbox"/>	(2) 機会があった。 偶爾有機會。	93	99
	計	94	100

回答者数 94人

(2)に答た人は、続いでの質問に答て下さい。 あなたのその機会はどんなことですか。

⇒答(2)的人、請繼續回答下面的問題。

(2) 称用什麼方法推广你所学的知識和經驗？

(複数回答)

カテゴリー	回答者数	延回数 ()内記入者数	合計字数OR対象 者数()内記入者数	備 考
(1) 論文発表	42人	<発表回数> 198回 5回/人平均 (40人)	<合計字数> 443.2万字 11.4万字/人平均 (39人)	<論文テーマ> 別紙 P-4
(2) セミナー・講演会・討論会	67人	<出講回数> 480 (60人)	<合計対象者数> 49,005 (60)	——
(3) 其の他	44人	——	——	① テキスト・参考書の執筆 <7> ② 講 義 <21> ③ 企業診断参加 <-> — 問3と重複するので削除 ④ 研究の発表 <2> ⑤ 教材の編集 <2> ⑥ 訳 文 <3> ⑦ 業務指導 <13> ⑧ 国際講座の通訳 <3> ※ < >内は回答数 ※ 主要にしぼりまとめる。

① 発表論文。

論文題目：

回答数 87

カテゴリー	合計	論文テーマ
マネジメント	《 18 》	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営管理論－日本・中国に関する－〈 7 〉 ○ 大・中企業のマネジメント体制の改革条件〈 1 〉 ○ 工場長の職能とリーダーシップ〈 1 〉 ○ 経営管理におけるコンピュータ利用〈 2 〉 ○ TQC管理への接近 〈 2 〉 ○ 日本の経営者〈 1 〉 ○ 収益構造の改善〈 1 〉 ○ 日本の物流管理〈 1 〉 ○ 問題の定義〈 1 〉 ○ 創造性開発技法〈 1 〉
IE生産管理	《 13 》	<ul style="list-style-type: none"> ○ △△企業の生産計画の提案〈 1 〉 ○ 科学的基準による目標管理〈 2 〉 ○ 日本のIE・生産管理 〈 1 〉 ○ 省力化と付加価値生産性〈 1 〉 ○ 新製品開発技法 〈 1 〉 ○ 品質管理 〈 3 〉 ○ ABC分析手法〈 1 〉 ○ W・S法に関するもの〈 2 〉 ○ VA手法 〈 1 〉
人事・労務管理	《 4 》	<ul style="list-style-type: none"> ○ プロジェクトの活用 〈 1 〉 ○ 中堅幹部の人事考論序論 ○ 動機づけ 〈 1 〉 ○ 日本の人事労務管理〈 1 〉
マーケティング	《 5 》	<ul style="list-style-type: none"> ○ マーケティング論 〈 1 〉 ○ 日本のマーケティング調査〈 1 〉 ○ 日本の小売業プル戦略〈 1 〉 ○ 日本の物流管理〈 1 〉 ○ 日本の商店経営〈 1 〉
財務管理	《 3 》	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経済効率計算に関する提言〈 1 〉 ○ 日本の決算制度 〈 1 〉 ○ 原価管理 〈 1 〉
経営戦略	《 7 》	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営戦略論 〈 4 〉 ○ 経営理念 〈 1 〉 ○ 環境分析手法〈 1 〉 ○ 成長戦略論 〈 1 〉
その他	《 37 》	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業診断論 <ul style="list-style-type: none"> — 機能別、総合診断方法論 — 活用論 — 日本の企業診断 — 自己診断 ○ 現代日本の中小企業 〈 3 〉 ○ 訪日見聞・訪日研修報告〈 3 〉

※ 〈 〉内は回答数。

問題 3 :

あなたの「中国経営管理コース」で学習した知識、経験の仕事での応用についてお聞きします。
你在「中国経営管理講座」所学的知識・經驗、能應用在你的工作上嗎？

<input type="checkbox"/>	(1) まったく応用できない。 完全不能応用。	1 人	1 %
<input type="checkbox"/>	(2) 多少応用できる。 多少能応用。	38	40
<input type="checkbox"/>	(3) 大いに活用している。 能應用的地方相当多。	55	59
	計	94	100

回答者数 94 人

(2)(3)に答えた人は続いて次の質問に答えて下さい。活用の内容についてお聞きします。

→答(2)或(3)的人、請繼續回答下面的問題。 尔如何應用？應用在什麼地方？

(複数回答) ↓↓

カテゴリー	回答者・数	延回数 ()内記入者数	対象者数 ()内記入者数	備考
① 仕事のやり方の改善	34 人	<回数> 181 (27 人)	—	<改善テーマ> 別紙 P-6
② 部下・後輩の指導	49 人	<回数> 381 10.9回/人平均 (35 人)	<対象者数> 5,152 人 147 人/回平均 (35 人)	—
③ 企業診断指導	69 人	<回数> 75	<対象者数> 1,360 人	<診断テーマ> 別紙 P-7 <診断企業名> 別紙 P-8、9
④ その他	人			—

活用の内容についてお聞きします。

尔如何応用？応用在什麼地方？

3-1 ① 改善工作的做法。「仕事のやり方」の改善テーマ テーマ回答 19人

題目： _____

○ TQCに関するテーマ < 7 >	○ 全体的経済計算の強化
○ 目標管理に関するテーマ < 6 >	○ 統計的管理法
○ マーケティングに関するテーマ < 4 >	○ 工程分析による工程管理の改善
○ 経営方針の決定、実行 < 2 >	○ 人事制度の完全化
○ 業務、現場の作業改善 < 3 >	○ 人事考課による能力評価
○ 原価低減・原価管理 < 2 >	○ 組織開発
○ 新製品開発 < 2 >	○ 動機づけの方法
○ 製品資材管理 < 2 >	○ 実地調査方法の研究
○ 財務管理・財務分析 < 3 >	○ 経営戦略
以下 — < 1 >	○ 人事・労務管理
○ グラフ、図表の活用	○ 企業の国際化
○ 如何に自己管理を向上させるか	○ 創造性技法の応用
○ 仕事の計画化と標準化	○ 教育方法
○ 経営技術を使って仕事の効率化	○ 生産計画管理
○ 経営管理の強化策	
○ 資源管理におけるABC分析法の応用	※ 集約の難しいテーマは列記した。
○ プロジェクト計画	
○ 職場責任制の制定	
○ 事業計画の設定	

※ < >内は回答数。

3 - 2 ③ 諮詢診断指導 企業診断指導のテーマ

⇓ 題目： _____

○ 総合診断	《19》	○ テーマ別診断	《10》
○ 機能別診断	《71》	意識調査	〈8〉
・ マーケティング	〈9〉	コンピュータによる経営改善	〈1〉
・ I E・生産管理	〈24〉	港湾設備の完全管理	〈1〉
・ 品質管理	〈19〉	計画管理診断	〈1〉
・ 財務管理	〈4〉	経営政策診断	〈1〉
・ 人事・組織開発	〈8〉	設備投資の経済性	〈1〉
・ 経営戦略	〈7〉	在庫管理診断	〈2〉

※ 〈 〉内は回答数

3 - 3 諮詢診断企業・工場名：

診断先企業名



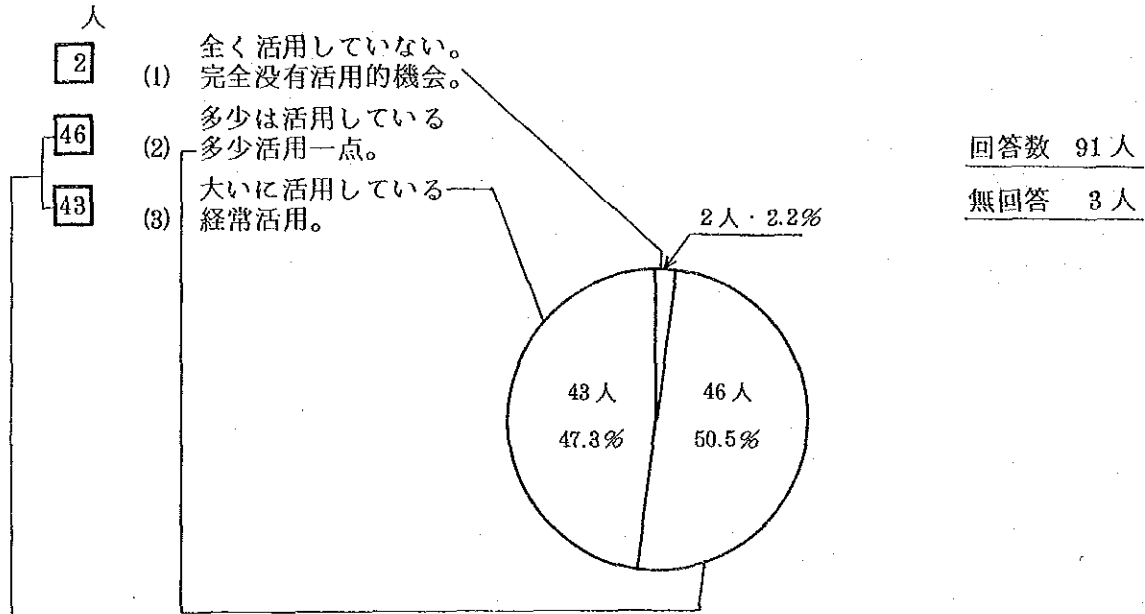
1	ハルビン腕時計工場	34	蚌埠晶体管工場
2	鉛筆工場	35	青島紗管電鍍工場
3	北京洗濯機工場	36	〃 電機機工場
4	長春市染色工場	37	〃 自転車工場
5	武漢電球工場	38	上海ワイシャツ四工場
6	浦圻紡織総工場	39	上海鉄鋼工場
7	沙市シャツ工場	40	上海バルブ工場
8	黄岡電機工場	41	南京布織工場
9	長距離旅客運輸処	42	〃 映写機械工場
10	合肥綿織染色工場	43	〃 腕時計工場
11	沈陽テレビ総工場	44	〃 ガラス工場
12	遼寧無線機粘工場	45	〃 化学工場
13	蘭州メリヤス工場	46	〃 光学機器工場
14	ポンプ工場	47	無錫オイルパイプポンプ工場
15	北京第3電気メーター工場	48	紹興歯車工場
16	吉林化学工業公司染料工場	49	江門カギ工場
17	唐山ボイラー工場	50	長沙タバコ工場
18	貴陽綿紡工場	51	金山プラスチック工場
19	測定器工場	52	北京プラスチック工場
20	迅速エレベーター工場	53	蘇州錦秀綿織工場
21	北京鋼鉄工場	54	無錫第3紡織機械工場
22	吉林省柳河県建材工場	55	宜兴印刷工場
23	常州トランス第四工場	56	昆明アルミ製品工場
24	長春市洗濯機械工場	57	西安工作機械工場
25	北京管楽器工場	58	チャムス市低温設備工場
26	承徳市シルク工場	59	石家庄市セメント製品工場
27	南京印染工場	60	天津減圧四工場
28	延吉タバコ工場	61	天津長糸工場
29	蚌埠カギ工場	62	内蒙古綿紡織工場
30	北京ブラウン管工場	63	銀川、長城工作機械工場
31	南京第一綿紡織工場	64	大連酒工場
32	承徳研頂工場	65	大連醸酒工場
33	蚌埠無線機工場	66	大連テレビ工場

67	武漢冷凍機工場	100	延辺ベアリング工場
68	廊坊地区化学肥料工場	101	四川省寧江工作機械工場
69	邢台トラクター工場	102	吉林省四平ボイラー工場
70	革北車体総工場	103	長春洗濯機工場
71	承継地区鉄工場	104	北京電線工場
72	保定市電機工場	105	北京電器工場
73	張家口セメント工場	106	北京毛織工場
74	泡州東光化学肥料工場	107	大連東産実業有限公司
75	平泉酒工場	108	蘭州製油工場
76	保定市電気化学工場	109	〃 化学工場
77	邯鄲市自転車総工場	110	〃 漆加剤工場
78	宣化セメント工場	111	西北ペンキ工場
79	邯鄲市ペンキ工場	112	南京分析測定器工場
80	〃 酒工場	113	南京金陵飯店
81	〃 電気磁石電線工場	114	内蒙古布郭化銅鋅山
82	〃 綿織工場	115	フホトビール工場
83	〃 化学肥料工場	116	蘭州製材工場
84	河北博野春蕾無線工場	117	甘肅省自動車整備工場
85	大連鉛筆工場	118	蘭州電球工場
86	清海プラスチック材料工場	119	〃 アルミ工場
87	蘭州バス組立工場	120	蘇州冷蔵車工場
88	〃 ガラス工場	121	北京市温水器材2工場
89	〃 第2通信機4工場	122	北京瑪鋼工場
90	〃 布靴工場	123	天津送風ポンプ工場
91	平涼衛生材工場		
92	秦川機械工場	※	〇〇工場、他〇〇件とあるので診断件数と工場名は一致しない。
93	西安デーゼル工場		
94	無錫市港灣管理局		
95	北京工具工場		
96	湖南省湖潭メリヤス工場		
97	甘肅省靖遠アンモニア工場		
98	寧江工作機械工場		
99	四平ボイラー工場		

問題 4 :

あなたの「中国経営管理コース」のテキストの活用についてお聞きします。

你曾活用「中国経営管理講座」的教材嗎？



(2)(3)に答た方は続いての質問に答て下さい。

答(2)或(3)的人、請繼續回答下面的問題。

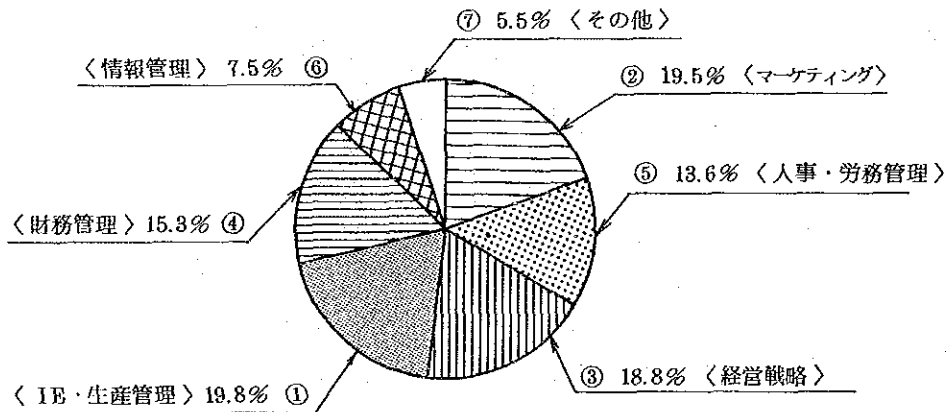
あなたはテキストのどれを活用していますか、答の数は制限ありません。

(2) (3) 你常活用教材的那些部分？此問題没有限制答案的数量

回答数 308

複数回数

- | | | | | | |
|-----------------------------|------------|-----------------------------|---------|-----------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> 60 | ①市場營銷 | <input type="checkbox"/> 42 | ②人事勞務管理 | <input type="checkbox"/> 58 | ③經營戰略 |
| <input type="checkbox"/> 61 | ④ I E 生產管理 | <input type="checkbox"/> 47 | ⑤財務管理 | <input type="checkbox"/> 23 | ⑥情報管理 |
| | | | | <input type="checkbox"/> 17 | ⑦其他 |



4-1 請任意添写並將主題写下。 問題4で選んだ項目のテーマを記入して下さい。

①市場営鎖
主題：

《 75 》

・需要予測 <18>	・消費者行動 <2>
・市場調査 <19>	・製品政策 <4>
・市場情報 <1>	・価格設定 <1>
・新製品開発 <10>	・製品ライフサイクル <2>
・販売促進 <5>	・競争戦略 <1>
・販売チャネル <2>	・輸出マーケティング <1>
・販売戦略 <5>	・市場占有率 <2>
・市場標的 <2>	

②人事労務管理
主題：

《 36 》

・人事管理改善 <3>	・動機づけ <5>
・人事考課 <15>	・リーダー・シップ <1>
・教育訓練 <1>	・賃金制度 <1>
・行動科学 <5>	
・能力開発 <1>	
・組織開発 <2>	
・人間関係論 <2>	
・人事組織 <1>	

③経営戦略
主題：

《 30 》

・P・P・M	
・製品/市場戦略 <8>	・国際化戦略 <1>
・長期経営計画 <3>	・環境分析 <2>
・戦略的経営 <4>	・経営政策 <3>
・経営戦略概論 <7>	
・多角化戦略 <2>	

④I E生産管理
主題：

《 75 》

・作業改善 <2>	・作業研究 <3>
・W・S法 <11>	・TQC管理 <3>
・目標管理 <4>	・工程管理 <10>
・品質管理 <15>	・設備管理 <2>
・現場管理 <4>	・PERT <2>
・時間研究 <5>	・標準化 <2>
・カンバン方式 <1>	・納期管理 <1>
・方法研究 <2>	・稼働率 <3>
	・O・R <1>

⑤財務管理
主題：

《 50 》

・原価管理 <14>	・損益分折点 <8>
・原価統制 <2>	・財務分析 <10>
・利益管理 <3>	・原価計算 <1>
・資金管理 <2>	・設備投資の 経済計算 <2>
・原価低減 <8>	

⑥情報管
主題：

《 11 》

・情報収集・処理 <2>
・情報システム設計 <1>
・システム分析 <2>
・経営情報システム <4>
・コンピュータ利用 <2>

⑦其他：（請具体説明。）《 14 》
主題：

・在庫管理 <6>	・経営一般 <2>
・収益性向上 <1>	・運搬管理 <2>
・創造性開発技法 <2>	・工場のレイアウト <2>
・企業診断手法 <3>	

※ スペースの関係で「その他」に他のテーマが混入している。

※ < >内は回答数—複数回答

問題 5 :

あなたの「中国経営管理コース」で学んだ知識・経験の学習成果についてお聞きします。
 你認為在「中国経営管理講座」中所學的知識・經驗、尚有不充分滿足的地方嗎？

<input type="checkbox"/>	すでに充分満足している。 (1) 已經充分滿足了。	7 人	7.5 %
<input type="checkbox"/>	充分満足とはいかない。 (2) 還不能充分滿足。	80	85
<input type="checkbox"/>	不満足である。 (3) 完全不能滿足。	7	7.5
	計	94	100

回答者数 94 人

(2)(3)に回答した人の期別分析

1 期	2 期	3 期	4 期	5 期	6 期	7 期
12/12	14/14	9/11	12/14	13/14	15/16	12/13
100 %	100 %	82 %	86 %	93 %	94 %	92 %

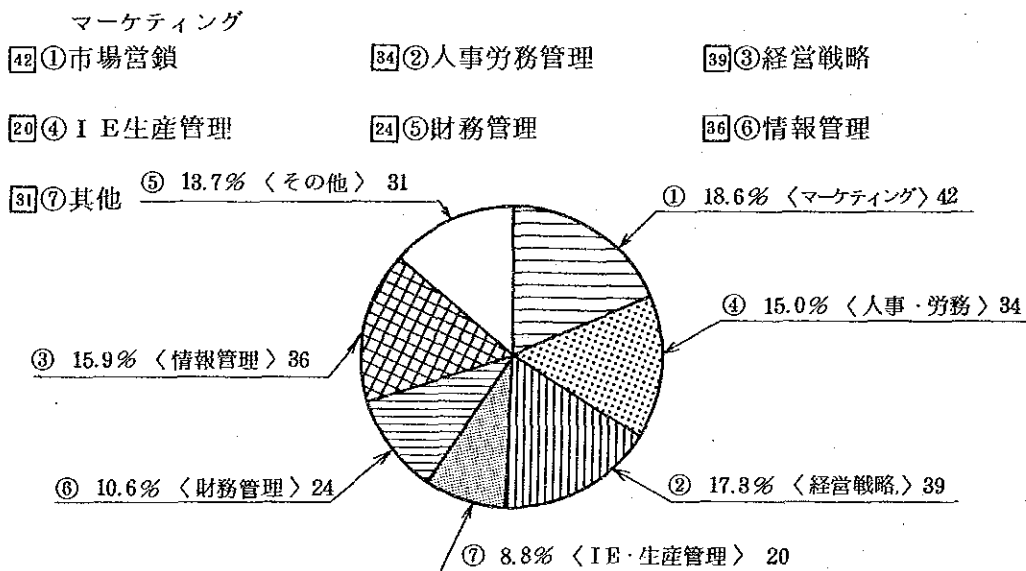
※ 分母—回答者数。分子—(2)(3)回答者数

(2)(3)に答えた方は続いでの質問に答て下さい。

⇨ 答(2)或(3)的人、請繼續回答下面的問題。

どの分野が満足できませんか、答の数は制限ありません。

(2)' (3)' 那些部分不能充分滿足？此問題没有限制答案的数量。 回答数 226 複數回答



※ () 数字は順位—不満足度

問題 5

(2) 充分満足とはいかない
還不能充分満足

(3) 不満足である
完全不能満足

どの分野か

- ①マーケティング ②人事労務管理 ③経営戦略 ④I E生産管理
⑤財務管理 ⑥情報管理 ⑦その他

5 - 1

具体的テーマ
の集約

回答者 68人

回答数 206人

回答数

※ (2)(3)回答者 87人
※ 複数回答

42

マーケティング
①市場營銷
主題:

○ 国際マーケティング	< 10 >	以下 < 1 >
○ 市場調査、分析、予測	< 6 >	○ マーケティング情報
○ 販売管理	< 6 >	○ 価格決定法
(セールスマン教育)		○ 市場占有率分析法
○ 製品 / 市場開発	< 5 >	○ 日本のマーケティング事情
(製品計画ふくむ)		○ 品不足のマーケティング
○ マーケティング戦略	< 3 >	○ 競争戦略
○ 事例研究	< 3 >	○ 業種別マーケティング
(具体的)		
○ 流通業マーケティング	< 2 >	

寸評

- 集計者— (1) 国際マーケティングは“輸出はどうすべきか”の実務的、今日的ニーズを訴求している。
- (2) 市場予測、市場調査、分析の技法の要望が強い。
- (3) “実際に使える”中国で実務にすぐ転用できる手法・技法・知識の訴求が急であり、具体的事例研究の質と量を求めている。

37

②人事労務管理
主題：

- | | |
|---------------------------|--------|
| ○ 人事考課
(管理者、限定をふくめ) | < 12 > |
| ○ 動機づけ | < 8 > |
| ○ 事例研究 | < 3 > |
| ○ 賃金制度 | < 3 > |
| ○ 能力開発
(管理者、人材活用、教育訓練) | < 3 > |
| ○ 組織開発
(組織論、活性化など) | < 3 > |
| ○ 人間関係論
(行動科学) | < 2 > |
| ○ 中国の人事制度 | < 2 > |
| ○ 日本的運命共同体の確立方法 | < 1 > |

寸 評

- 集計者— (1) ニーズは比較的バラツキが少なく、人事考課 動機づけに集中している。
 (2) いずれも“具体的”活用できる“実際に求めている。
 (3) 人事考課で、管理者、幹部の考課—業績評価の方法論を訴求しているのが目立つ。 < 5 >

24

③経営戦略
主題：

- | | | |
|----------------------|-------|---------------------------|
| ○ 事例研究 | < 6 > | 以下< 1 > |
| ○ 経営戦略の策定法
(戦略計画) | < 6 > | ○ 経営戦略診断 |
| ○ 国際化戦略 | < 2 > | ○ プロジェクト組織活動
(事例をふくめて) |
| ○ 環境予測・技法 | < 3 > | ○ 企業能力分析 |
| | | ○ フィジビリティースタディー |
| | | ○ 経営戦略の歴史的展開 |
| | | ○ 戦略策定遂行のリーダーシップ |
| | | ○ 国営企業の経営戦略 |

寸 評

- 集計者— (1) 全体の要請は実務レベルの実際として求めている。—事例研究< 6 >—
 (2) 策定法< 6 >も(1)と関連性があり、戦略をどう創出して行くのか、概念論から戦略プロセスのそれぞれの課題に活用できる技法、手法を事例の中で体得することを要請している。

26

④ I E生産管理
主題：

- | | | |
|--------------|-------|-------------------------|
| ○ 新製品開発手法 | < 3 > | 以下< 1 > |
| ○ 生産計画の立案と管理 | < 2 > | ○ I E生産管理の体系化 |
| ○ 小集団活動 | < 2 > | ○ 現代 I E |
| ○ Q C技法の応用 | < 2 > | ○ 品質保証事例 |
| ○ 設備保全管理 | < 2 > | ○ 現状分析手法
(現場からの情報収集) |
| ○ 事例研究 | < 2 > | ○ 超短ワークサンプリング法 |
| ○ 工程分析 | < 2 > | ○ 標準化管理 |
| | | ○ 在庫管理 |
| | | ○ P E R T |
| | | ○ 運搬分析 |
| | | ○ 方法研究 |
| | | ○ 動作分析 |

寸 評

—集計者— (1) 以上の如くバラツキが広く、傾向として集約できるのは、テーマが記述され、続いて「実例不足、体験不足」が強調されていることである。

19

⑤財務管理
主題：

- | | | |
|----------------------|-------|------------------|
| 原価計算 | | 以下< 1 > |
| 〃 分析 | | ○ 資金効率向上の方法 |
| 〃 管理 | | ○ 株の管理 |
| ○ 〃 統制 | < 7 > | ○ 固定費、変動費の科学的区分法 |
| 〃 低減 | | |
| 個別原価計算手法 | | |
| 設備投資と原価計算 | | |
| ○ 管理会計 | < 3 > | |
| ○ R O 1 | < 2 > | |
| ○ 中国財務処理との合致し
た講義 | < 2 > | |
| ○ 財務診断技法 | < 2 > | |

寸 評

—集計者— (1) 「原価」に関連するテーマに集中している。他の項と同じく「事例」の要望がテーマ記述のあとについて来る。
(2) 原価低減による収益性向上が、多くの企業の課題になっている実情の反映であろうか。

30

⑥情報管理

主題：

- | | | |
|--------------------|--------|----------------|
| ○ 経営管理のコンピュータ利用 | < 10 > | 以下< 1 > |
| ○ 情報収集・処理のシステム化と利用 | < 6 > | ○ OA化の教材 |
| ○ 情報管理システムとシステム設計 | < 8 > | ○ グラインダーのEDP利用 |
| ○ パソコンの操作・利用 | < 2 > | ○ 研究開発情報 |
| | | ○ 情報活用の具体策 |

寸評

- 集計者—
- (1) 経営情報システム即コンピュータといった混乱が見られる。
 - (2) 意思決定支援システムとしてのコンピュータの利用 — 特に内部情報管理のシステム化の知識ニーズは強い。
 - (3) “私の時はなかったので”と断りもある。
 - (4) 情報収集後の処理・利用・活用について知識を求めている。

28

⑦其他（請具体説明。）

主題：

- | | | |
|------------|-------|----------------------|
| 期間が短い | < 4 > | 以下< 1 > |
| 事務分析（事務管理） | < 3 > | ○ 現在よりすぐれたテキスト、教材の提供 |
| 目標管理 | < 3 > | ○ 経済理論の充実 |
| 問題解決技法と実際 | < 2 > | ○ 成功する経営者のあり方 |
| | | ○ 広報の実情 |
| | | ○ 消費者・行動の分析法 |
| | | ○ 日本企業の実情理解 |
| | | ○ 創造性開発技法 |
| | | ○ 企業活性化診断 |
| | | ○ 外部環境対応の方法 |
| | | ○ 工場見学少し |
| | | ○ 各種資料不足 |
| | | ○ VEの実際 |
| | | ○ 全体事例少し |
| | | ○ 実習回数多く |
| | | ○ 現代経営管理論 |
| | | ○ コンピュータ関連を多く |

寸評

- 集計者—
- (1) 多岐に亘っている。テーマの事務分析、目標管理はカリキュラムから欠けている所ではある。
 - (2) 「期間」「教材」「工場見学」「実習」等はカリキュラムの基本的構成な問題である。

5-2 設定外の回答 — 問題5の(2)(3)の回答者の枠外に記されていた内容と、⑦「其の他」に収められなかったものをまとめた。

◇ それぞれの科目は大ざっぱで内容が浅すぎる	〈5〉
○ 総花的でなく重点を深く、詳しく	
○ 研修生の立場の相異から来るニーズに「主題別専門講座」の開催を、	
○ 理論を実際化する講義方法 — 事例による解説法	
◇ 中国の現状に合った経営管理方法・マーケティングの方法を求める。	〈1〉
◇ 事例で成功例と失敗例の対比がない。	〈1〉
◇ 欧米マネジメント、ニックスのマネジメントの紹介と問題点・日本との比較論	〈1〉

不満足である

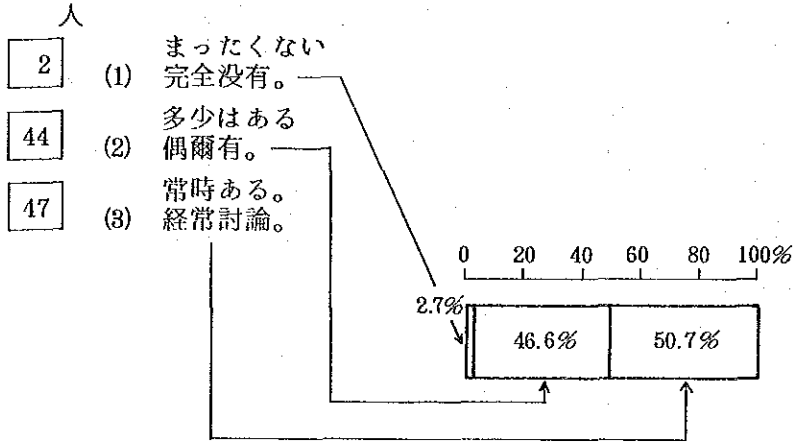
5-3 (3) 完全不能満足の回答者の分析 〈7人〉

回答者・属性			科目別のテーマ						
番号	期別	職種	①マーケティング	②人事労務	③経営戦略	④IE生産管理	⑤財務管理	⑥情報管理	⑦其の他
38	2	廠長	—	—	—	—	—	—	—
43	3	行政幹部	—	—	—	—	—	—	—
44	3	副廠長	—	—	—	—	—	—	—
46	3	行政幹部	—	・人事制度 ・人間関係論	・実例	・超短ワーク サンプリング	—	—	・創造性開発 ・問題解決 ・事務管理
81	5	行政幹部 工 程 師	・業種別マ ーケティング	・動機づけ	—	—	—	・情報管理シ ステム	—
91	5	廠 長	・国際マ ーケティング ・市場占有 率分析	・人事考課 ・動機づけ ・賃金制度	・新製品開 発 ・環境対応 ・企業競争 力	・工程分析 ・運搬分析 ・方法研究	・財務診断 技法	・コンピュ ータ 利用 ・情報収集 ・処理のシ ステム化	・資料不足 ・OA化の情 報
114	7	副廠長	—	—	—	—	—	—	—

※ — は回答がないことを示す。

問題 6 :

あなたは「中国経営管理コース」で学んだ知識・経験を同僚・友人と討論することがありますか。
你在「中国経営管理講座」所學的知識・經驗、經常与同事或友人討論嗎？



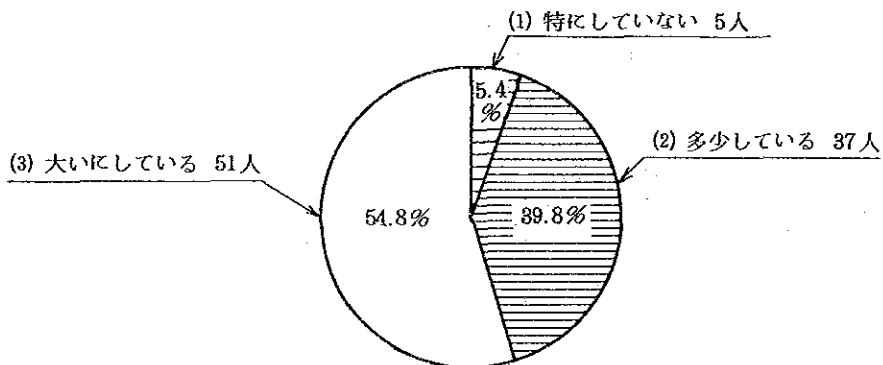
回答者 93 人

問題 7 :

あなたは帰国後、「経営管理」の学習を続けていますか。
你在回国後、也經常學習「經營管理」方面的課程嗎？

		人	%
<input type="checkbox"/>	(1) 特にしていない。 没特地學習。	5	5.4
<input type="checkbox"/>	(2) 多少はしている。 多少學習一點。	37	39.8
<input type="checkbox"/>	(3) 大いにしている。 經常學習。	51	54.8
	計	93	100

回答者数 93 人



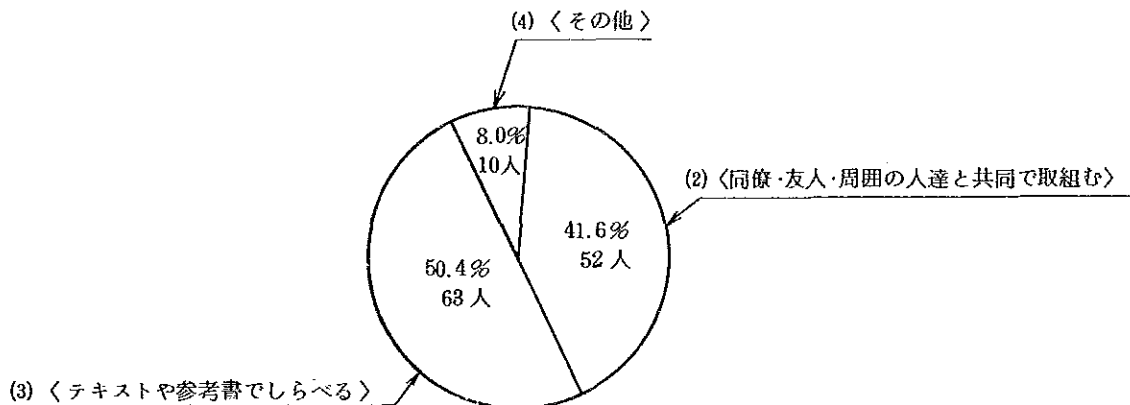
問題 8 :

あなたは、経営管理上の問題や疑問、困難に出合った時にどのように解決しているかお聞きします。
 当你在經營管理方面發生問題、疑問或者遇到困難時、你如何解決？

<input type="checkbox"/>	(1) そのまゝ放置する。 放在一邊、不管它。	0 人	0 %
<input type="checkbox"/>	(2) 同僚、友人、周囲の人達と共同で取組む。 与同事、友人或周圍的人共同研究。	52	41.6
<input type="checkbox"/>	(3) テキストや参考書でしらべる。 查教材、参考書等資料。	63	50.4
<input type="checkbox"/>	(4) 具体的に記入 其他。(請具体說明)	10	8.0
	計	125	100

回答者数 94 人 回答数 125

(複数回答)



(具体的に記入) P - 20

問題 8 その他 具体的説明をして下さい。
(4) 其他。(請具体説明。)

- ① 同僚どうして討論し改善策を提案する。
- ② 講義する場合教材・参考書を調査する。
- ③ 資料では調査不能の問題点が残る。
- ④ 関係機関の開催する研究会に参加する。
- ⑤ 学習成果を実際に生かしてその体験から「工場近代化の推進成果発表会」で報告する。
- ⑥ 日本文の参考資料が少ない。JICAの〈研修員〉の日本語版が欲しい
- ⑦ 中国人民大学で現在勉強中。
- ⑧ 上役に解決策を提案し意見を求め共に解決する。
- ⑨ 技術導入の場合、プロダクト・ライフ・サイクル、国内・外の市場環境を対比するよう注意する。
- ⑩ 国内・外の各種セミナーに出席し、講師に教えを受ける。
- ⑪ 中国企業管理協会の指導者、教育・診断・情報部などの先生に教えを乞う。
- ⑫ 日本の講師・専門家と交通によって教えてもらう。
- ⑬ 経営者として毎日問題にぶつかり、常に学習し、同僚と研究、友人に教えられる。
- ⑭ また日本の講師に教えて頂きたい。

※ 13人の14コメントを転載。

問題 9 :

中国の経営管理の近代化で当面重要な課題は何ですか。重要なものから 3 つ選んで下さい。
もし必要があれば()の中に説明を記入して下さい。

你認為在中国的企業管理（經營管理）現代化裏、当前最重要的課題是什麼？

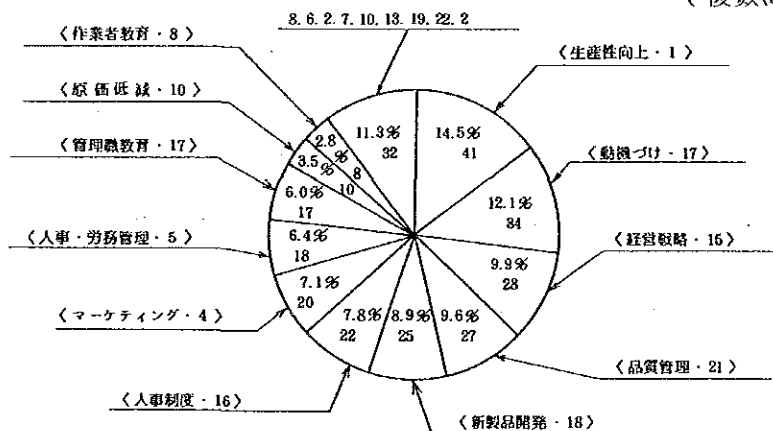
請從下面的部門裏、案照重要性的順序、選出你認為最重要的 3 項。

倘若你認為必要說明的話、請寫在括弧裏。

- | | | | | | |
|----|-------------------|----|------------|----|-----------|
| 41 | 1. 生産性向上
提高生産性 | 6 | 2. 生産管理技術 | 0 | 3. I E 技巧 |
| 20 | 4. 市場營銷 | 18 | 5. 人事・労務管理 | 4 | 6. 財務管理 |
| 3 | 7. 企業組織開發 | 4 | 8. 工場長教育 | 17 | 9. 管理幹部教育 |
| 2 | 10. 車間長、工段長教育 | 8 | 11. 作業者教育 | 2 | 12. 技術革新 |
| 2 | 13. T O C、職場活動 | 0 | 14. 経営計画 | 28 | 15. 経営戦略 |
| 22 | 16. 人事制度 | 34 | 17. 調動積極性 | 25 | 18. 開発新產品 |
| 3 | 19. 設備革新 | 10 | 20. 原価低減 | 27 | 21. 品質管理 |
| 6 | 22. 経営情報系統 | 0 | 23. 予算管理 | 0 | 24. 利潤管理 |
| 0 | 25. 其他 : | | | | |

回答者数 94 人 人・回答数 282

(複数(3)回答)



項目別順位表

(順位)

1	生産性向上	6	人事制度	11	作業者教育	16	組織開發	25	其他 経営計画 予算管理 I E・手法 利益管理
2	動機づけ	7	マーケティング	12	生産管理技術	16	設備改革		
3	経営戦略	8	人事・労務管理	12	経営情報システム	18	職長教育		
4	品質管理	9	管理者教育	14	経営者教育	18	T O C 小集団活動		
5	新製品開発	10	原価低減	14	財務管理	18	技術革新		
								※いずれも選択	0

9-1 「もし必要あれば()の中に説明を記入して下さい。」に回答のあった項目を抽出してまとめた。

1. 提高生産性

- 生産管理技術・IE技法・技術革新。
- 生産性の向上
- 技入大、産出小、浪費多、能率低である。
- 労働生産性が低い。

5. 人事・労務管理

- 企業は人なり。
- 如何に作業者を動機づけするか。
- 動機づけ、人事制度、作業教育

8. 工場長教育

- 工場長の能力を高めるために。

10. 車間長、工段長教育

- この階層に対する教育は実施していない。

15. 経営戦略

- 戦略は企業の将来を左右する。
- 戦略策定が一番に重要である。

18. 開発新産品

- 製品競争力こそ企業の競争なり。
- 国際的・国内的な適切な標準を定め、新製品を開発し陳腐化した製品を徹底的に廃棄すべきである。

22. 経営情報系統

- 経営情報システムを強化し企業の競争能力を向上させる。

4. 市場營銷

- 中国の企業には流通経済を發展させるにあたって諸々の障害がある。

6. 財務管理

- 原価低減・予算管理・利益管理。

9. 管理幹部教育

- 工場長・生産部長・生産課長教育をふくむ。
- 管理思想の根本的転換
- 幹部の管理能力が低くてどう企業経営ができるというのか - 徹底教育が必要 <2>
- 幹部の管理能力レベルが低い。

11. 職工教育

- 作業者の素質向上は基本の基本である。<2>

17. 調動積極性

- 全社的な動機づけ施策 <3>
- 行動科学の実践と成果配分
- モノによる奨励と精神教育
- 全社的なモラル・アップ、幹部のモラル・アップ

21. 品質管理

- QC意識の向上
- TQC管理の徹底的実行
- 品質第一とする観念を如何に正確に定着させるか。
- 品質水準が低いので市場競争力がないのがウイーク・ポイントである。
- QCの形式主義が多い。
- QCを強化し企業イメージを売る。

※ < >内は同質回答をまとめた。

9-2 問題9は、項目から重要な順に3つ選ぶことになっているか、「25. その他」は集計上0であった。しかし項目に物足りなさを覚えたのか、下記の記述があったので参考として転載した。

25. その他：（請具体説明。） その他：具体的に説明して下さい。

- 輸出企業では外貨収入をあげるため、競争力を強化すべきで、そのために減価償却政策を実施すべきである。
- 政治・経済体制の改革
- 十億人のエネルギーは世界の中で偉大な力である。ご協力を！
- 経営体制の改革 - (例) 国営企業の民営化
- 全体的に見るとコスト・ダウンによる利益向上、製品ライフ・サイクルにフィットとした更新を、加速的に行っていかなければ生き残れない。

9-1、9-2に記入している回答者数 19人

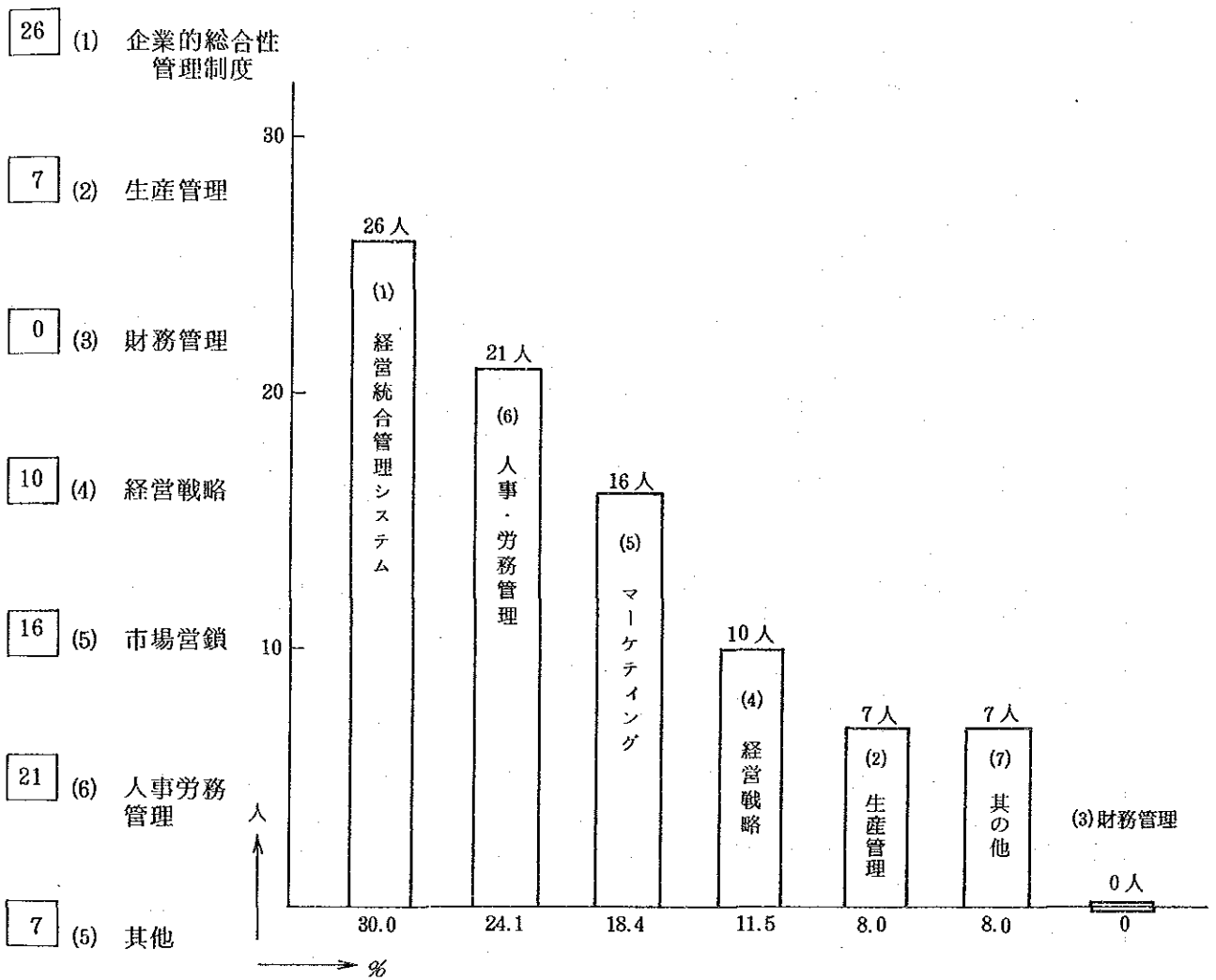
問題 10 :

あなたの職場で経営管理の改善で一番力を入れている課題を1つ選んで下さい。

在你的服務單位裏、最加緊努力改善的企業管理（經營管理）課題是什麼？

請從下列項目中選出1項。

回答者数 85 人、無回答 9 人



回答数 87 (重複回答ふくむ)

並明記内容。内容を明記して下さい。

例： (6) 人事勞務管理 樹立人事考核制度、並以評審能力來結合待遇制度、調動積極性、能力開發等的運用。
人事考課制度を確立して、能力評価による処遇を行いやる気を起こし、能力開発に結びつける。

人
 25 (1) 企業的綜合性
 管理制度

コメント数 25

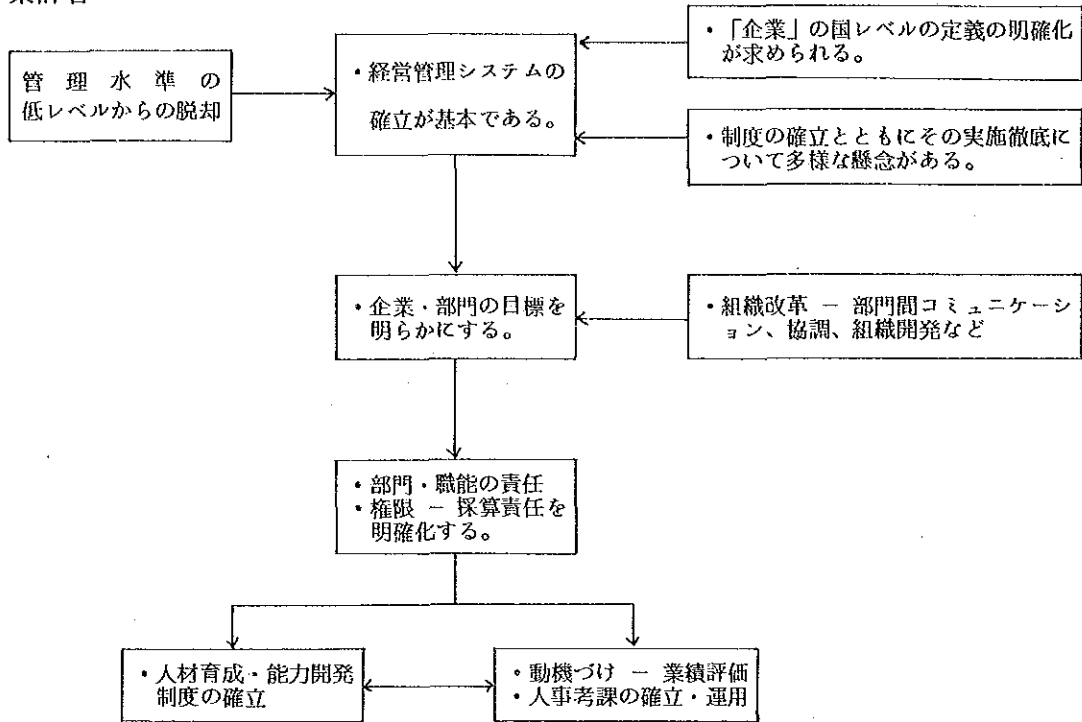
期別	職 種	コ メ ン ト 内 容
2	公司副總經理 工程師	諸管理システムの制定と業績責任と考課（評価）
2	副 廠 長	国と企業との関係 - 企業法の健全化による法人化の実施、企業の責任、権限を持たせる 具体化の実行規定と内部管理制度の確立
3	企業・研究所 幹 部	企業方針を確立し、目標を明確にして達成への展開を管理し、採算性の責任制を確立する。
3	工 程 師	部門間の協調と上下の団結を計り、従業員の意欲の動機づけを行うとともに、各経営指数の正 確な把握が必要である。
3	企業管理協会 幹 部	必要な管理システムを制定し、職責範囲を明確化するとともに、工程手順を確定し、検査制度 を確立してチェック（評価）を強化する。
4	経 済 委 員 会 幹 部	企業の実情に合ったトータル、コスト、ダウンして収益の増大を計るとともに幹部の教育、マ ネジメント諸システムの制定実施し工場長をふくめた責任、賞罰を確立する。
4	企 業 - 科 長 工 程 師	あらゆる分野の標準化を推進し、目標、情報の流れ、指標等を確立することによって、合理的 な経営目標を設定すべきである。
4	企業-研究所長 副 工 程 師	経営管理システムを整備し、システム管理を基礎として科学的管理を推進し、生産性向上を計 るべきである。
4	企 業 科 長	経営管理システムを制度し、部門職能を考課すべき。長・中期計画で人材育成、製品開発、全 社目標を立て実行計画を遂行する。
4	企業管理協会 幹 部	採算責任制、リース導入、下請制、株主制度、企業業績の評価基準などの諸制度の確立
4	行 科 政 長	企業のあらゆる側面の整理整頓に対する結合管理制度を真陰に取組み、取捨選択して徹底実行 を。
5	経 済 処 部 幹 部	組織の合理化・機能・権限責任の明確化、役割分担（仕事）のシステム化、標準化。
5	企業-企業管理 副 處 長	部門別管理システム、成果配分システムなど。
5	経 済 委 員 会 幹 部	部門内のタテ、ヨコの関係、情報の伝達、仕事の分担、協働関係など組織開発部の設置が必要 である。
5	幹 部 学 院 教 師	企業の性格、目的、任務、権利義務、従業員の雇用、解雇、昇進など根幹にかゝる制度の確 立。

期別	職 種	コ メ ン ト 内 容
5	企 業 廠 長	事業部制を採用し、その組織の利点を活用し、生産性を向上させる。
6	行 政 幹 部	総合的管理制度とそれに準じた組織体制をつくり、外国の成功した手法をとり入れ積極的な導入を計る。
6	工 業 学 院 教 師	管理システムの確立と採算評価、情報の交流、省人化と事務処理能力の向上
6	企 業 副 工 場 長	経営者、管理職、従業員の経営理念を発展・確立させ、部門職責、調整を制度化し、真実の評価（考課）を実施する。
6	経 済 委 員 会 幹 部	科学的な管理手法を制度化し、能力開発システム、人事考課システムの導入をする。
6	企 業 専 門 主 任	優れた政策の立案導入、さらに人材を入れて能率化を計る。
7	企 業 副 廠 長	総合的経営管理制度と機能別管理制度、さらにQC制度の改善を計りたい。
7	企 業 副 廠 長	管理諸制度の改善・設定とその実行推進の努力中である。
7	企 主 任	総合的な管理システムが弱体であり、生産性は低く、管理水準は低い。
7	企 業 主 任 工 程 師	目標管理を方針とし、部門の評価（考課）制度を作り、基本的な仕事（役割・職務）を整理し明確化する。

寸評

—集計者—

コメント全体をまとめる



- (1) 要約すると以上のような考え方に総括できるのではないか。
- (2) 管理体制の改善、確立とその運用に強い問題意識を持っていることが解る。 — 特に採算責任とその評価・処遇に強い制度化を求めている。
- (3) さらに部門間の連けい、ヨコの交流について問題を抱えている。
- (4) この問題を選択している期別の比率は表の通り。

期	1	2	3	4	5	6	7
内容							
選択した期人数	0	2	3	6	5	5	4
	—人	—人	—人	—人	—人	—人	—人
「問題10」 回答期別人数	9	13	11	14	12	15	11
	0%	15.4%	27.3%	42.9%	41.7%	33.3%	36.4%

※ ① 「問題10」に回答した85人を期別に分解し、分母とし、この課題を選択しコメントしたその期の人数を分子として比率を見た。
 ② 1期の0%が目立つ。

人

7 (2) 生産管理

コメント数 7

期別	職 種	コ メ ン ト 内 容
1	工 業 学 院 教 師	私は学校でこのテーマの理論を教えているので、最新のこのテーマの内容・事例を切に理解したいものだ。
3	企 副 廠 業 廠 長	- 不 明 -
4	企 主 業 主 任	設備の更新・改善、技術革新、TOCの強化、全工程の流れ作業の改善、生産性向上、原価低減。
6	企 業 - 公 司 工 程 師 ・ 副 科 長	管理技術を向上させることは生産ラインの重要な一つである。進捗バランスがくずれ生産性が低い。
6	企 副 廠 業 廠 長	新製品開発、製品体系化、標準化、多能工化、QC、原価低減などにより生産性を向上させる。
7	企 工 程 業 工 程 師	科学的管理の強化、生産性の向上、品質の改善、原価低減
1	企 工 程 業 工 程 師	半製品、製品の生産工程における混乱を防ぐ効果的な措置をとり、厳格な規則を徹底して守って生産現場における形を良くする。

寸 評

—集計者— 特にコメントする内容は発見できない「原価低減」の表現が目立つ。

人

0 (3) 財務管理

コメント数 0

人

コメント数 10

10 (4) 経営戦略

期別	職 種	コ メ ン ト 内 容
1	企業管理協会 コンサルタント	国内のコンサルティング・ビジネスの発展趨勢を予測し、当会社の対応策を戦略化（成長計画）し、如何にコンサルティング・ビジネスの特長を強化するかがテーマである。
1	〃	長期経営計画、能力開発、組織開発、教材開発
2	企業 - 公司 総 経 理 助 理	公司体制の改革、製品企画、製品の更新・改善、経済情報の収集・活用
2	行 政 幹 部	情報を収集して、企業内外の環境変化を明確に把握して、変化の激しい環境に対応する長期経営計画を立案する。
3	経済研究センター 幹 部	経営者として戦略意識をもち、企業の長期計画、全社部門戦略を策定して全従業員のモラル・アップを計る。
4	諮 詢 公 司 顧 問	長、中期経営計画の策定、それに関与する諸問題の改革推進。
4	行 政 幹 部	顧客（取引先）の確保と、重点顧客の取引拡大ならびに長期計画を改定して具体的な実施計画を実行に移す。
4	企業管理協会 幹 部	経営戦略概念を確立し、戦略的経営を志向して、戦略課題を設定する。
6	経 済 委 員 会 幹 部	〇〇市の工業発展の長期計画によって重点的な発展育成する業種が決ったそれによって設備・機械が設置され、企業の自主権を与える政策を研究する。
6	企業 - 公司 副 科 長	企業の5ヶ年計画を立て、組織改革で簡略化し、経営連合体、同業種連合団体をつくり、製品の国内市場を安定確保し、海外市場を目指す。

寸 評

- 集計者— (1) このテーマを選択した職種は10人中、行政・企業指導機関が8人であり、企業は2人で公司である。生産工場からの選択がないことは体制による所であろうか？
- (2) “なぜ、いま戦略なのか”の期待した視点は得られなかった。

人

16

(5) 市場營銷

コメント数 16

期別	職 種	コ メ ン ト 内 容
1	日 本 研 究 所 講 師	現代マーケティング理念を確立し、企業・消費者・社会の三者関係を正す。
1	所 員	市場情報管理、原材料の購買、保管、市場の調査・予測、新製品の開発。
1	行 幹 部	目下、最も深刻な課題は、企業の管轄部門から企業に到る、商品の経済的視点であり、商品に対する経済的効率概念の確立と管理体制と管理である。
1	企 業 - 公 司 副 経 理	情報管理、市場調査を強化してマーケティング戦略を確立する。市場ニーズに応える新製品を開発し、収益性を向上し、海外市場へ進出する。
1	研 究 所 主 任	情報の集収処理を通じて科学的なアプローチを行う。
2	企 業 業 長	製品の品質・生産を確保し、国内・外市場における競争力をつけ、新市場を開拓、新製品開発の能力を強化する。
2	企 業 管 理 協 会 幹 部	生産主導型の視点からマーケティング中心に視点を変え、サービス業を包含した、ニーズに適応する製品の生・販、に変化し、収益性の向上を計る。
5	行 政	消費需要動向の分析・把握、マーケティング戦略の設定、新製品開発の促進など
5	企 業 業 長	効果的な販売チャネルを構築する……以下不明
5	行 工 程 師	品質向上・原価低減、よって海外市場を開拓し、先進技術・設備資金導入を計り、より海外市場を重点とする。
5	企 業 - 公 司 副 経 理	海外市場に進出するため、海外の先進技術、設備の導入は急務であり、よってマーケティング課題は緊急課題である。
6	企 業 業 長	市場調査、情報収集、企業外部との関連を広げる。
6	企 業 - 公 司 副 主 任	半導体業界不況の時代にあってマーケティングを如何に効果的に展開し、生産を促進させるかである。
7	企 副 業 廠 長	市場情報、市場動向、市場調査、市場潜在力、市場予測
7	行 幹 部	膨大な営業販売の組織(チーム)をつくり海外へ発展させる。
7	企 工 程 師	主力製品の占有率を調査すること。同業他社の生産能力、発展方向を調査すること。

寸 評

—集計者—	(1)	「マーケティング機能」を例記	8
		「海外市場の開拓」を訴求	5
		「現代マーケティング理念」に触れる	2
	(2)	「情報収集・市場調査」の要素が目立つ	6
		「新製品開発」志向	3

人

18

(6) 人事労務管理

コメント数 18

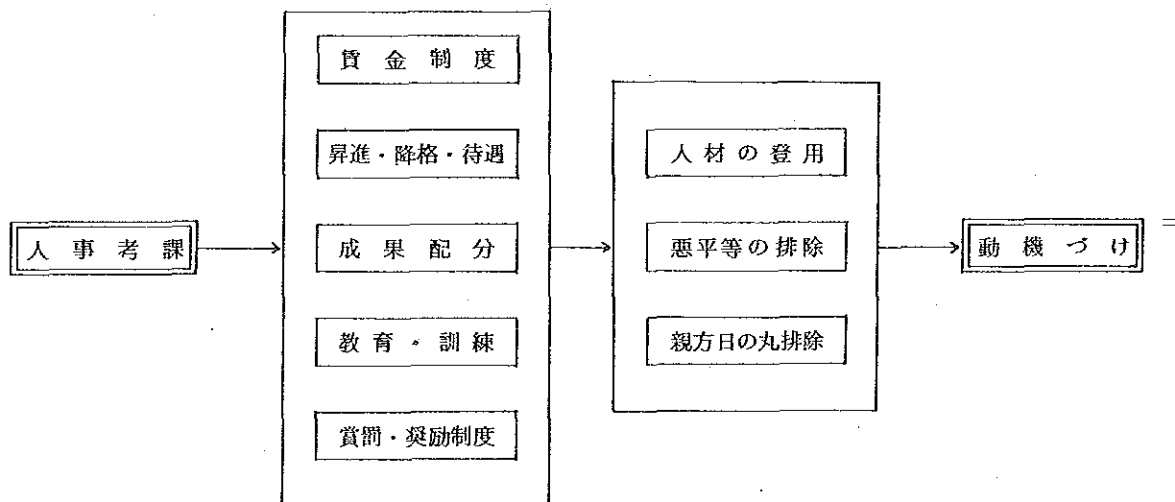
期別	職 種	コ メ ン ト 内 容
2	行 幹 政 部	人事考課制度の改善、日常業務の制度化、システム化、標準化などにより動機づけする。
2	行 幹 政 部	動機づけ、人材交流の認可、恵平等待遇の改善
3	企 廠 業 長	人事考課制度の確立、人間関係の改善、合理的賃金制度や奨励制度の制定、動機づけ。
3	企 業 管 理 協 会 幹 事 部	能力開発、動機づけ、職務分析、人事制度の採用
3	企 廠 業 長	考課制度を改善し、目標、標準、賞罰を健全にして従業員の動機づけを行う。
3	企 業 一 公 司 副 経 理	有能者を選抜して合理的な経営委任制度を制定し、規定通り正しく人事異動を行う。
4	企 廠 業 長	考課制度、成果配分方法を改善し従業員に動機づけ、教育訓練
4	企 副 処 長 業	従業員教育訓練の強化による能力向上、厳格な考課制度、従業員の動機づけ、成果配分制度の改善、一恵平等や親方日の丸をなくする。
4	行 幹 政 部	動機づけ、業務処理能力の向上、考課制度
5	行 幹 政 部	人事考課制度の制定、能力評価の結果を賃金と結び、動機づけするとともに能力開発により全従業員の素質を向上させる。
5	教 育 セ ン タ ー 教 師	人事考課制度を制定し、能力評価による業績を賞罰、昇進、動機づけに結びつける — 先進諸国の事例を紹介すれば効果的である。
5	企 幹 業 部	人事考課制度を制定し、考課し結果を賞与、賃金、昇進、処遇に結んで従業員の動機づけをする。

期別	職 種	コ メ ン ト 内 容
6	企 業 科 長	人事考課制度を確立し、考課によってその人の待遇、昇進、降格を合理的に処し、動機づけを実現すること。
6	企 業 副 処 長	賃金制度、動機づけ、能力開発などの改善により幹部の管理レベルを向上させる。
6	企 業 管 理 協 会 幹 部	賃金、賞与は業績(能力考課)と結びつけ、業績を昇進に結んで動機づけをする。
6	〃 〃	目標、考課の基準を明確にした考課制度を制度し、待遇、昇進、能力開発などを考課結果と結びつける。
7	企 業 廠 長	人事考課を健全にし、能力や実績を公平に評価し、それに相当する待遇措置をとり、賞罰を明確にして、動機づけする。
7	教 育 セ ン タ ー 教 師	動機づけ、能力主義人事制度の実施。

寸 評

- 集計者— (1) 18のコメントはすべて「考課制度」の確立とその正確な運用による「動機づけ」を提言していると言って過言ではない。
- (2) 図で示すと以下にまとめられる。

人事制度改革と厳正な運用



人

7 (5) 其他

コメント数 7

期別	職 種	コ メ ン ト 内 容
2	企 業 工 程 師	企業の横断的連合 — 80年代の技術水準へ接近
2	企 業 幹 部	経営専門家の請負責任制 — 収益責任、成果配分 (1部不明)
2	企 業 一 公 司 副 総 経 理	収益性の増大 — 品質向上、原価低減、新製品などを通じて
2	大 教 学 師	講師招聘制度・講師昇進制度
2	企 業 幹 部	組織の活力 — 全社的モラル・アップを計り、企業に活力を。
6	企 業 管 理 協 会 幹 部	行政部門の総合的管理制度の改革 — 人事について特に。考課能力評価、幹部抜擢登用制度、 動機づけ、能力開発、幹部の知識更新
7	行 政 幹 部	グローバルな建築データベース — 都市開発、整備計画に活用

寸 評

—集計者— な し

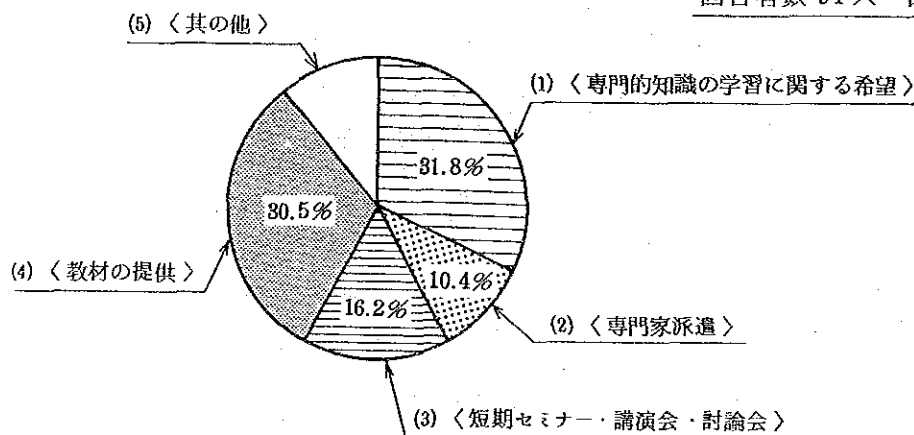
問題 11 :

経営管理の学習について今後日本政府や J I C A にどんな希望がありますか。

對於經營管理的學習問題、今後、你對日本政府或 J I C A 有什麼希望？

	ケ	%
<input type="checkbox"/> (1) 経営管理に関する専門的知識の学習に関する希望。 希望学習有関經營管理方面的専門知識。	49	31.8
<input type="checkbox"/> (2) 専門家による巡回指導 派遣專家做定期的巡回指導。	16	10.4
<input type="checkbox"/> (3) 短期セミナー・講演会・討論会の開催 舉辦短期的講座、演講會、討論會。	25	16.2
<input type="checkbox"/> (4) 教材の提供 提供教材。	47	30.5
<input type="checkbox"/> (5) 其他	17	11.0
計	154	100

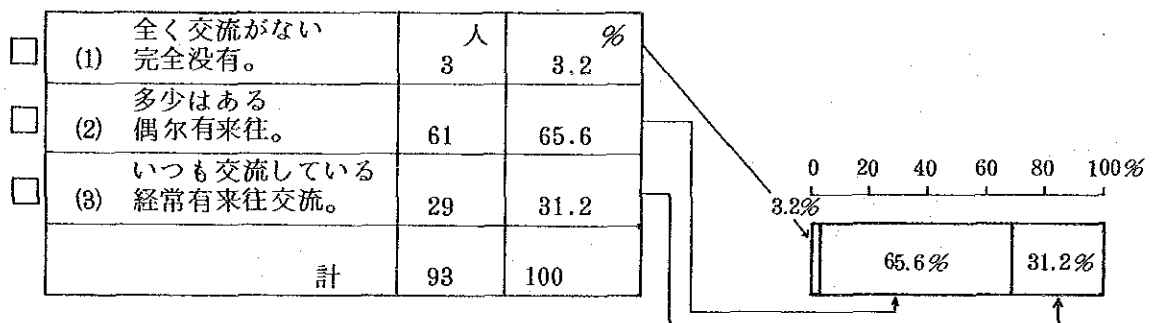
回答者数 94 人 回答数 154 (複数回答)



問題 12 :

あなたは帰国後、「中国経営管理コース」の同期生や、先輩、後輩と良く交流をしていますか。

你回國後、經常与「中国經營管理講座」的同学、学兄、学弟等来往交流嗎？



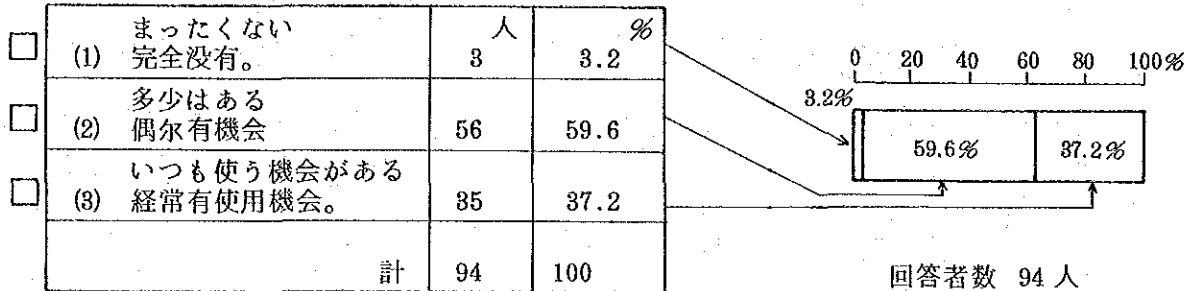
回答者数 94 人

11 - 1 問題 11 (5) 其他

テ マ	数	内 容
(1) 中国でのセミナーの開催	< 2 >	階層別セミナー<1>
(2) 日本の工場での実習、研修体験を求める	< 4 >	同一業種工場<1> 経営管理者としての体験<1>
(3) 最近の日本のマネジメント、企業の動向	< 5 >	訪日希望<4> 資料<1>
(4) 情報提供して貰える交流	< 3 >	窓口が欲しい<2> 先生との交流<1>
(5) 講座への参加 (米日しての)	< 3 >	JICA開催の講座情報<1> 1年コースJPO<1> 経営管理博士研究班<1>
(6) 教材の提供	< 2 >	マネジメントの解りやすい本<1> 経営機能別参考書―新著・最新版―継続して<1>
(7) 日本の専門家の中国企業診断への参加	< 1 >	

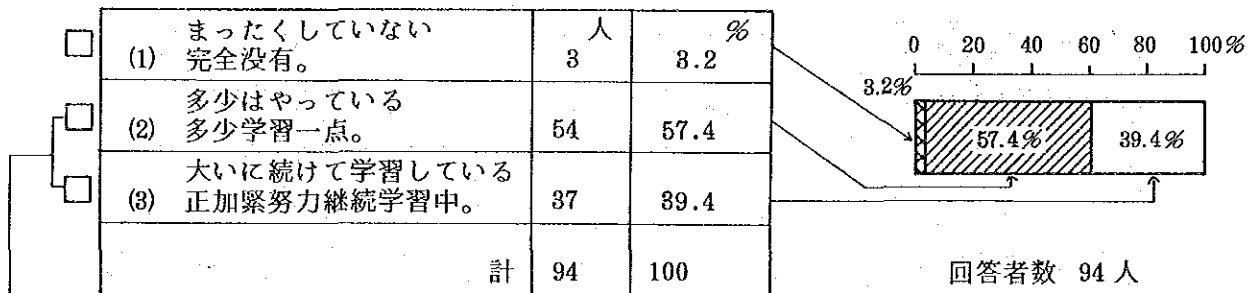
問題 13 :

あなたは帰国後、いつも日本語を使う機会がありますか。
 你回国後、經常有使用日語的機會嗎？



問題 14 :

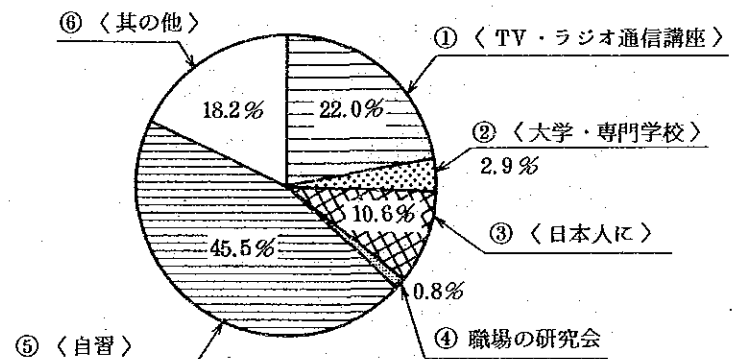
あなたは帰国後、続けて日本語の学習を続けていますか。
 你回国後、還繼續在學習日語嗎？



(2)(3)に答た方は続いての質問に答えて下さい。 その学習はどんな方法でやっていますか。
 ⇨ 答(2)或(3)の人、請繼續回答下面的問題。 (2), (3)你用什麼方法、手段學習？

- ケ
- 29 ① テレビ、ラジオの通信講座を受けている
接受電視或收音機等的函授教育。
 - 4 ② 大学、専門学校で日本語を学んでいる。昼間部、夜間部
大学或専門学校的日語課程(日間部、夜間部)。
 - 14 ③ 周囲いる日本人に習っている
向周圍的日本人學習。
 - 1 ④ 職場に日本語の研修会がある
服務單位設有日語研究班。
 - 60 ⑤ 自習で行っている
自學。
 - 24 ⑥ 其他

○ 仕事と結びついて使っている <10>
 ○ TV・ラジオを聴取している <8>
 ○ 日本語の小説・参考書 <3>
 ○ 日本語教師・教師アルバイト <4>
 ※ 主要なものをまとめる。



回答数 132 (複数回答)

※ < >内は回答数

5. 帰国研修員動向調査結果総括表

経営管理コース 卒業生名簿(87. 3. 25現在)					
記入年月日	氏名(漢字)	性別	生年月日	省(特別市) 名	現勤務先(A)
1 1986-01-13	沙 粟	男		北京市	中国廠長(經理)工作研究会
2 1987. 03. 18	袁 英華	男	1952. 11. 0	北京市	中国廠長(經理)工作研究会
3 1986-01-13	李 伯仁	男		天津市	天津企業管理訓練センター
4 1986-01-13	趙 文炳	男		天津市	天津市トラクター工場
5 1986-01-24	王 伯元	男		江蘇省	常州市紡織工業公司
6 1987. 03. 18	李 玉諱	男	1948. 04. 1	吉林省	吉林大学日本研究所
7 1987. 03. 24	齊 秀麗	女	1953. 07. 1	吉林省	吉林大学 日本研究所
8 1987. 03. 24	李 思非	男	1934. 09. 1	福建省	福州大学 財経学院
9 1986-01-24	鄭 日鮮	男		吉林省	長春市造紙廠
10 1987. 03. 18	許 運季	男	1942. 01. 1	遼寧省	鉄嶺市運輸管理处
11 1986-01-24	劉 長明	男		遼寧省	大連鋼廠
12 1986-01-24	朴 万浩	男		甘肅省	石油化学工業庁
13 1987. 03. 19	金 秉燮	男	1936. 01. 1	遼寧省	瀋陽市電子工業局
14 1987. 03. 18	王 建茂	男	1939. 12. 0	甘肅省	蘭州化学工業公司
15 1987. 03. 18	金 周英	女	1490. 07. 1	北京市	中国廠長(經理)研究会
16 1987. 03. 18	陳 亮梅	男	1936. 12. 2	遼寧省	瀋陽市第一砂輪廠
17 1987-03-18	朴 榮極	男	1940. 09. 0	吉林省	吉林省建築材料研究所
18 1987. 03. 19	許 在賢	男	1938. 08. 1	北京市	中国企業管理協會
19 1987. 03. 24	安 蘭柱	男	1941. 11. 2	天津市	天津企業管理培訓中心
20 1986-02-05	嚴 義奎	男		天津市	天津市化学工業公司
21 1986-07-04	白 成琦	男		吉林省	吉林大学
22 1987. 03. 19	候 慶軒	男	1941. 04. 3	吉林省	吉林大学
23 1987. 03. 19	李 文学	男	1941. 10. 1	北京市	北京管業四廠
24 1986-07-04	王 斌	男		吉林省	四平市人民政府
25 1986-07-04	夏 伯忠	男		遼寧省	遼寧大学
26 1987. 03. 24	車 道明	男	1934. 06. 0	吉林省	延吉市延辺自治州計画經濟委員会
27 1987. 03. 19	呂 鳳春	男	1946. 02. 1	北京市	北京汽車工業總公司

現職名(A)	勤務先所在地A	初回来日年月	同上事業名
会長	北京市西皇城根南街9号	1980-08-14	第1回経営管理コース
理事兼对外連絡部 副部長	北京市西皇城根南街9号	80.08.14	第1回経営管理コース
对外連絡部 副部長	天津市和平区泰安道30号	1980-08-14	第1回経営管理コース
事務室	天津市南開区紅旗路	1980-08-14	第1回経営管理コース
副經理		1980-08-14	第1回経営管理コース
日本經濟管理研究室 講師	長春市解放大路	80.08.14~	第1回経営管理コース
經營管理室 講師	長春市解放大路	80.08~	第1回経営管理コース
副教授 系主任	福州市	80.08~	第1回経営管理コース
副總工程師	吉林省長春市	1980-08-14	第1回経営管理コース
党委員会書記	鉄嶺市	80.08.14~	第1回経営管理コース
高級工程師	遼寧省大連市甘井子区	1980-08-14	第1回経営管理コース
科学技術処 技術輸入 責任者	甘肅省蘭州市東崗東路317	1980-08-14	第1回経営管理コース
局長	遼寧省瀋陽市天西路5段96号	80.08.14~	第1回経営管理コース
公司副經理	甘肅省蘭州市西固区	80.08.14~	第1回経営管理コース
副秘書長兼培訓諮詢 部部長	西黄城根南街9号	80.08.14~	第1回経営管理コース
總工程師	遼寧省瀋陽市總家屯区	80.08.14~	第1回経営管理コース
工程師 第一研究室主任	遼寧省長春市民康路11号	80.08.14~	第1回経営管理コース
諮詢部副主任 經營コンサルタント	海淀区花園村半截塔1号	1980-08-14	第1回経営管理コース
教材開発科 科長	南開区水上公園路16号	80.08~	第1回経営管理コース
副總工程師	天津市和平区徐州道6号	1980-08-14	第1回経営管理コース
日本研究所 企業管理 研究室 主任		1981-07-28	第2回経営管理コース
日本研究所	長春市解放大路83号	81.07.28~	第2回経営管理コース
工程師		81.07.28~	第2回経営管理コース
市長	四平市	1981-07-28	第2回経営管理コース
經濟系研究室 主任講師	瀋陽市崇山西路	1981-07-28	第2回経営管理コース
副總工程師	延吉市	81.07~	第2回経営管理コース
總經理助理		81.07.-28~	第2回経営管理コース

	記入年月日	氏名(漢字)	性別	生年月日	省(特別市)	現勤務先(A)
8					名	
9						
10						
11	28 1986-07-04	梁 宝 俊	男		北京市	北京經濟幹部培訓中心
12						
13	29 1987. 03. 19	王 広 仁	男	1937. 09. 1	北京市	北京市第一食品公司
14						
15	30 1987. 03. 19	蔣 志 民	男	1941. 11. 0	北京市	北京市紡織工業總公司
16						
17	31 1987. 03. 19	丁 振 明	男	1950. 11. 2	天津市	天津自行車二廠
18						
19	32 1987. 03. 19	薛 洪 敏	男	1948. 09. 2	山東省	濟南市人民政府
20						
21	33 1987. 03. 19	崔 天 祝	男	1939. 11. 0	山東省	青島市電子儀表工業局
22						
23	34 1987. 03. 24	王 鳴 鶴	男	1936. 01. 1	上海市	上海工業大學
24						
25	35 1986-07-14	顧 俊 超	男		上海市	上海市輕工業機械公司
26						
27	36 1986-07-14	陸 忠 偉	男		北京市	
28						
29	37 1987. 03. 24	倪 瑞 度	男	1946. 01. 2	江蘇省	無錫縣經濟委員會
30						
31	38 1987. 03. 19	郝 棋 富	男	1945. 04. 2	江蘇省	南京電影機械廠
32						
33	39 1987. 03. 19	陳 華 蔚	男	1944. 08. 1	江蘇省	江蘇省企業管理協會
34						
35	40 1987. 03. 19	過 沛 南	男	1941. 04. 0	廣東省	廣州市經濟技術開發區
36						
37	41 1986-07-31	李 維 綱	男		北京市	北京市第一製藥工場
38						
39	42 1986-07-31	王 子 光	男		北京市	北京內燃機總工場 TQC事務 室
40						
41	43 1987. 03. 24	馬 雲 飛	男	1955. 11. 1	北京市	京倫飯店
42						
43	44 1987. 03. 18	黃 維 虎	男	1950. 05. 2	上海市	中國鉛筆二廠
44						
45	45 1987. 03. 18	壹 陸 輝	男	1938. 08. 1	上海市	上海市正泰橡膠廠
46						
47	46 1987. 03. 19	曹 晒 雲	男	1946. 01. 0	江蘇省	無錫市企業管理協會
48						
49	47 1986-07-31	吳 進 盛	男		江蘇省	高郵ポンプ工場
50						
51	48 1987. 03. 19	于 廣 盛	男	1941. 01. 0	吉林省	吉林鉄合金廠
52						
53	49 1987. 03. 19	王 志 強	男	1940. 10. 1	陝西省	西安市經濟研究中心
54						
55	50 1986-08-19	劉 偉 芳	男		陝西省	無錫企業能率研究指導中心
56						
57	51 1986-08-19	郭 秀 芬	男		遼寧省	遼寧省經濟委員會
58						
59	52 1986-08-19	張 洪 志	男		遼寧省	大連 庄機械庁
60						
61	53 1987. 03. 19	張 良 浩	男	1941. 06. 0	黑龍江省	佳木斯紡織印染廠
62						
63	54 1986-08-19	宋 紹 華	男		山西省	山西大學經濟係
64						
65	55 1987. 03. 19	李 嵩 勳	男	1943. 10. 1	河北省	塑料皮革工業公司

現職名(A)	勤務先所在地A	初回来日年月	同上事業名
副主任		1981-07-28	第2回経営管理コース
副經理兼副總工程師	崇文区法華寺街136号	81.07.28	第2回経営管理コース
副總經理	東单三条33号	81.07.28~	第2回経営管理コース
副廠長(廠長助理)	河北区百届工業区	81.07.28~	第2回経営管理コース
副秘書長兼辦公室主任	濟南市	81.07.28	第2回経営管理コース
副局長	青島市江蘇路13号	81.07.28~	第2回経営管理コース
数学教研室 講師	延長路149号	81.07~	第2回経営管理コース
干部	四川中路110号	1981-07-28	第2回経営管理コース
		1981-07-28	第2回経営管理コース
副主任	無錫市広瑞路野花園	81.07~	第2回経営管理コース
廠長	南京市太平門外崗子村	81.07.28~	第2回経営管理コース
副秘書長	南京市北京西路15-1号9楼	81.07.28~	第2回経営管理コース
副主任	広州市黃埔新港路	81.07.28~	第2回経営管理コース
工場長	遼国門外光華路	1982・7・27	第3回経営管理コース
事務員	朝陽区双井九龍山	1982・7・27	第3回経営管理コース
(未定)	建国門外	82.07~	第3回経営管理コース
副廠長	益家匯路548号	82.07.27~	第3回経営管理コース
廠長 兼上海 equal 橡膠 聯營公司總經理	長陽路447号	82.7.27~	第3回経営管理コース
副秘書長	無錫市健康路500号	82・7・27~	第3回経営管理コース
副工場長	高郵繁榮路1号	1982・7・27	第3回経営管理コース
研究所 副所長	吉林市哈達街	82・7・27~	第3回経営管理コース
副總幹事長	西安市人民政府内	82.7.27~	第3回経営管理コース
工程師	西安市	1982・7・27	第3回経営管理コース
教育処	瀋陽市太原街2号	1982・7・27	第3回経営管理コース
設計科 副科長	大連市	1982・7・27	第3回経営管理コース
廠長	佳木斯市友誼路	82.7.27~	第3回経営管理コース
副主任	太原市	1982・7・27	第3回経営管理コース
副經理	石家庄市	82.7.27~	第3回経営管理コース

	記入年月日	氏名(漢字)	性別	生年月日	省(特別市)	現勤務先(A)
7						
8						
9						
10						
11						
12	56	高興田	男	1943.12.2	甘肅省	蘭州化学工業公司化肥廠
13						
14	57	閔梓萍	男	1941.09.1	天津市	天津企業管理培訓中心
15						
16	58	胡叔英	男	1946.11.0	北京市	中國企業管理協會
17						
18	59	吳文遠	男	1939.11.0	北京市	北京錄音機廠
19						
20	60	任三軍	男	1946.11.2	四川省	四川化工總廠
21						
22	61	王志雲	男		北京市	第三毛條廠
23						
24	62	崔益壽	男	1938.04.1	黑龍江省	大慶市統計局
25						
26	63	劉連運	男	1952.03.0	黑龍江省	大連鋸廠
27						
28	64	野興林	男	1943.11.1	河北省	河北省企業管諮詢公司
29						
30	65	傅捷	男		北京市	北京市經濟管理幹部學院廠
31						
32	66	李彥清	男	1956.06.1	河北省	邯鄲市經濟委員會
33						
34	67	南宗奎	男	1938.06.2	吉林省	龍井手扶托拉機廠
35						
36	68	崔吉天	男	1938.10.1	甘肅省	西北油漆廠
37						
38	69	張用美	男		湖北省	武漢市企業管理協會
39						
40	70	嚴明	女	1944.07.2	江蘇省	連雲港市針織內衣廠
41						
42	71	朱洪慶	男	1951.03.0	遼寧省	大連市第一輕工業局
43						
44	72	賈維翼	男	1941.02.1	甘肅省	蘭州市企業管理協會
45						
46	73	王三茂	男	1948.12.1	陝西省	西安市企業管理協會
47						
48	74	顧振華	男	1946.09.2	江蘇省	無錫市交通局
49						
50	75	向賢莊	女	1937.06.0	北京市	中國國家計畫委員會
51						
52	76	遠松山	男	1939.05.0	北京市	國經委 經濟幹部培訓中心
53						
54	77	張連榮	男	1940.10.1	浙江省	嘉興市對外經濟貿易委員會
55						
56	78	張勇	男		遼寧省	大連市第二輕工業局職員大學
57						
58	79	玉濤	男	1950.04.1	黑龍江省	哈爾濱空調機廠
59						
60	80	劉裕仁	男	1943.11.2	西省	西省水電工業局
61						
62	81	鄭成吉	男	1945.12.2	吉林省	延邊對外經濟委員會
63						
64	82	劉吉照	男		北京市	北京東風電視廠
65						

現職名(A)	勤務先所在地A	初回来日年月	同上事業名
工程師	蘭州市西園区化工街	82. 7. 27~	第3回經營管理コース
情報部副部長	天津市南開区水上公園路16号	82. 7. 27~	第3回經營管理コース
对外連絡部 副主任	海淀区花園村半截塔1号	82. 7. 27~	第3回經營管理コース
廠長		83. 07. 26~	第4回經營管理コース
質量管理处 副処長	成都市青白江区	83. 07. 26~	第4回經營管理コース
廠長		1983・07・26	第4回經營管理コース
局長	大慶市	83. 07~	第4回經營管理コース
对外經濟处 項目主任	大連市甘井子区椒房街	83. 07. 26~	第4回經營管理コース
兼翻譯 經營顧問	石家荘市工農路34	83. 07. 26~	第4回經營管理コース
廠長	東城区東總布63	1983・07・26	第4回經營管理コース
企業管理科 幹部	邯鄲市中華大街66号	83. 07. 26~	第4回經營管理コース
工芸科 科長, 工程師	龍井県	83. 07. 26~	第4回經營管理コース
副總工程師 兼研究所 所長	蘭州市	83. 07. 26~	第4回經營管理コース
	武漢市一元路	1983・07・26	第4回經營管理コース
副廠長	連雲港市	83. 07~	第4回經營管理コース
技術改造处 副処長	大連市中山区斯大林路1	83. 07. 26~	第4回經營管理コース
専職副秘書長	蘭州市中山路348	1983・07・26	第4回經營管理コース
諮詢部 部長	西安市北院門159号 市政府院内	83. 07~	第4回經營管理コース
労働工資安全科 副科 長	無錫市人民路224号	83. 07. 26~	第4回經營管理コース
副処長	三里河	83. 07. 26~	第4回經營管理コース
研究生辦公室 主任	海淀区花園村半截塔1号	84. 7. 19~	第5回經營管理コース
	嘉興市中山路380号	84. 7. 23~	第5回經營管理コース
敬務主任	大連市中山区斯大林路	1984. 7. 23	第5回經營管理コース
經營廠長	哈爾濱市道里区友誼路41	84. 7. 23~	第5回經營管理コース
經營開發处 副処長	西安市辺家村水之巷1号	84. 7. ~	第5回經營管理コース
外経处 副処長	延吉市	84. 7. ~	第5回經營管理コース
副總經濟師	北河沿大街77	1984. 7. 23	第5回經營管理コース 182

7	記入年月日	氏名(漢字)	性別	生年月日	省(特別市) 名	現勤務先(A)
8						
9						
10	83 1987.03.20	朱企章	男	1945.05.1	四川省	四川化学總工廠
11	84 1987.03.25	王安一	男	1946.08.0	雲南省	雲南省化工進口公司
12	85 1986-11-27	劉秀媛	女		北京市	北京市經濟幹部學院
13	86 1987.03.25	許家寧	男	1941.05.1	浙江省	溫州市對外經濟貿易委員會
14						
15	87 1987.03.25	王玉春	男	1954.01.0	吉林省	工交管理幹部學院
16						
17	88 1986-11-27	楊軍利	女		吉林省	吉林工學院
18						
19	89 1987.03.19	江濤	男	1945.07.0	江蘇省	中國企業管理無錫培訓中心
20						
21	90 1987.03.25	江岸鋒	男	1942.10.1	河南省	南州市標準計量局
22						
23	91 1987.03.25	吳文彬	男	1942.11.0	陝西省	西安整流器研究所
24						
25	92 1987.03.19	水敬恒	男	1939.07.1	北京市	北京柴油機械總工廠
26						
27	93 1986-11-27	王巧魚	女		內蒙古自治 區	內蒙古棉紡織工廠
28						
29	94 1987.03.19	季丕菊	女	1938.11.0	北京市	北京工業大學
30						
31	95 1987.03.19	陳瑞坤	男	1940.11.1	河南省	河南省醫藥管理局
32						
33	96 1987.03.19	申成福	男	1941.11.0	河北省	承德市軸承廠
34						
35	97 1987.03.19	趙阿黛	女	1951.09.2	黑龍江省	哈爾濱市經濟委員會
36						
37	98 1987.03.19	季振華	男	1952.06.1	山東省	青島鋁製品總廠
38						
39	99 1987.03.25	陳曉峰	男	1957.10.1	遼寧省	大連輕工業學院
40						
41	100 1987.03.25	吳繼前	男	1945.09.2	上海市	上海半導體器件工業公司
42						
43	101 1987.03.19	萬鈞	男	1947.08.2	北京市	北京市汽車工業總公司
44						
45	102 1987.03.19	劉篋鴻	男	1960.04.2	江蘇省	蘇州經濟管理幹部學院
46						
47	103 1987.03.19	劉崇祖	男	1949.08.0	甘肅省	中國化工總公司蘭州煉油 廠
48						
49	104 1987.03.25	李翼勇	男	1946.08.0	貴州省	貴州鋁廠
50						
51	105 1986.12.24	司徒燕	女		北京市	經濟委員會企業管理協會
52						
53	106 1987.03.19	黃衛光	男	1954.08.1	江蘇省	江蘇省企業管理協會
54						
55	107 1987.03.19	莊偉鎔	男	1958.10.1	江蘇省	南通市經濟委員會
56						
57	108 1987.03.19	張良金	男	1943.04.0	陝西省	西安電力整流器廠
58						
59	109 1987.03.19	楊恕仁	女	1946.11.3	內蒙古自治 區	赤峰製藥廠
60						
61	110 1987.03.19	劉翠芬	女	1950.12.0	甘肅省	蘭州市企業管理協會
62						
63						
64						

現職名(A)	勤務先所在地A	初回来日年月	同上事業名
企業管理処 副処長	成都市青白江	84. 7. 23~	第5回経営管理コース
副經理	昆明市	84. 7. ~	第5回経営管理コース
日本語教師	北京朝内大街203西樓701	1984. 7. 23	第5回経営管理コース
外資管理科 科長	温州市望江路甌大厦	84. 7. ~	第5回経営管理コース
管理工程系 教師	长春市衛星路35	84. 7. ~	第5回経営管理コース
管理工学部教師	长春市寬平大路	1984. 7. 23	第5回経営管理コース
教師	無錫市漆塘	84. 7. 23~	第5回経営管理コース
副局長	南昌市民德路337	1984. 7. 23	第5回経営管理コース
所長	西安市朱雀大街17号	84. 7. ~	第5回経営管理コース
鍛造分工廠長		84. 7. 23~	第5回経営管理コース
		1984. 7. 23	第5回経営管理コース
第一分校 講師	朝外三里屯	84. 7. 23~	第5回経営管理コース
副局長	鄭州市	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
廠長	承德市	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
科学技術処 助理工程師	哈爾濱市道里区石頭道里街131号	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
質量管理科 科長	青島市威海路303号	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
企業管理教研室 教師	大連市甘井子区	85. 07. ~	第6回経営管理コース
經理部 副主任	南京西路656号	85. 07. 22-	第6回経営管理コース
品質管理処 副科長, 工程師	宣武区南緯路31号	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
工業経済学部教師	蘇州市郊橫山	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
総合管理処 副処長	蘭州市西固区	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
機械動力処 副処長	貴陽市白雲区	85. 07. ~	第6回経営管理コース
助理會計師	台基廠3号	85. 07. 22-	第6回経営管理コース
諮詢部 責任者	南京市北京西路15-1号	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
企業管理科 科員	南通市建設路1号 南通市人民政 府内	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
副廠長	西安市大慶中路8号	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
麻黄素 車間主任	赤峰市	85. 07. 22~	第6回経営管理コース
諮詢部 部長	蘭州市中山路348号	85. 07. 22~	第6回経営管理コース 183

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
		記入年月日	氏名(漢字)	性別	生年月日	省(特別市)	現勤務先(A)																																																			
								名																																																		
	111	1987.03.19	花家芳	男	1940.03.0	北京市	中國企業管理協會																																																			
	112	1987.0.-25	杜祥深	男	1946.08.2	河南省	鄭州勘探機械廠																																																			
	113	1987.03.19	許士平	男	1944.02.2	上海市	上海電視調諧器廠																																																			
	114	1987.03.19	陳庭桂	男	1944.04.2	河北省	邯鄲醫療器械廠																																																			
	115	1987.03.25	唱新	男		吉林省	吉林大學																																																			
	116	1987-01-31	李匯成	男		江蘇省	江蘇省船舶工業公司																																																			
	117	1987.03.25	張友新	男	1943.08.2	廣西壯族自 治區	廣西柳州電機總廠																																																			
	118	1987.03.25	尤新華	女	1949.10.2	黑龍江省	哈爾濱市城鄉規劃建設委員會																																																			
	119	1987.03.19	李龍虎	男	1942.03.2	上海市	郵電部上海通信設備廠																																																			
	120	1987.03.25	張寶文	男	1941.11.2	內蒙古自治 區	呼和浩特市電子設備廠																																																			
	121	1987.03.19	郭杏人	女	1941.03.1	北京市	北京內燃機總廠																																																			
	122	1987.03.25	劉元朝	男	1953.01.	北京市	北京市企業管理協會																																																			
	123	1987-01-31	韓頤平	男		江蘇省	無錫油泵廠																																																			
	124	1987.03.19	李津濤	男	1946.10.1	河北省	華北製藥廠																																																			
	125	1987.03.25	張長榮	男	1948.11.1	陝西省	西安市企業管理協會																																																			
	126	1987.03.25	張成榮	男	1945.07.0	江蘇省	中國企業管理無錫培訓中心																																																			

1 年コース卒業生 (87.3.24 現在)

記入年月日	氏名(漢字)	性別	生年月日	省(特別市)名	現勤務先(A)
1 1987-02-04	梁 宝 俊	男	1936-9-26	北京市	国経委北京経済幹部培訓中心
2 1987-02-04	許 在 賢	男	1938-8-19	北京市	中国企業管理協會
3 1987-02-04	安 蘭 柱	男	1941-11-2	天津市	天津企業管理培訓中心
4 1987-02-04	郝 保 唐	男	1940·11	北京市	中国企業管理協會
5 1987-02-04	丁 振 明	男	1950·11	天津市	天津自行車第二廠
6 1987-02-04	張 皓	男	1953·12	北京市	北京市企業管理協會
7 1987.02.04	陳 華 蔚	男	1944·8·	江蘇省	江蘇省企業管理協會
8 1987.03.24	楊 達 民	男	1940.11.0	天津市	天津市企業管理協會
9 1987.02.04	劉 純 礼	男	1938·11	天津市	天津市企業管理協會
10 1987.02.04	孫 捍 一	男	1937·02	天津市	天津市自行車工業公司
11 1987.02.05	金 周 英	女		北京市	中国廠長(經理)工作研究会
12 1987.02.05	曹 岫 雲	男	1946-02-0	江蘇省	無錫市企業管理協會
13 1987.02.05	舒 斯 玉	男	1937-7-6	北京市	中国企業管理協會
14 1987.02.06	李 羅 佳	女		天津市	天津市企業管理培訓中心
15 1987.02.06	李 玉 坤	女		天津市	天津市企業管理培訓中心
16 1987.02.05	黃 蘭 英	女		天津市	天津市企業管理培訓中心
17 1987.02.06	李 連 春	男		天津市	天津市企業管理培訓中心
18 1987.02.05	黃 漢 榮	男		天津市	天津市企業管理培訓中心
19 1987.02.05	關 梓	男		天津市	天津市企業管理培訓中心
20 1987.02.06	張 玉 鳳	男		天津市	天津市企業管理協會
21 1987.02.05	王 德 然	男		天津市	天津市企業管理協會
22 1987.03.24	鞏 世 安	男	1954.10.0	天津市	天津企業管理培訓中心
23 1987.03.24	樞 宏	男	1954.06.1	天津市	天津企業管理培訓中心
24 1987.03.24	顧 延 彪	男	1933.09.1	天津市	天津企業管理協會
25 1987.03.24	沙 銳 敏	女	1956.07.3	天津市	天津企業管理培訓中心
26 1987.03.24	鄭 廷 瑶	男	1939.09.1	天津市	天津企業管理培訓中心
27 1987.03.24	郭 孝 雄	男	1942.06.0	天津市	天津企業管理培訓中心

現職名(A)	初回来日年月	同上事業名
副主任	82・4-83.3	1年コース 25期
諮詢部 副主任	82・4-83.3	1年コース 25期
経営コンサルタント	82・4-83.3	1年コース 25期
	83・4-84・3	1年コース 26期
	83・4-84・3	1年コース 26期
	83・4-84-3	1年コース 26期
副主任	84・4-85・3	1年コース 27期
副会長兼秘書長	84・4-85・3	1年コース 27期
	84・4-85・3	1年コース 27期
主任	84・4-85・3	1年コース 27期
副秘書長	85.04.	1年コース 28期
	85.04.	1年コース 28期
諮詢部	85.04.	1年コース 28期
市場教研室	85.04.	1年コース 28期
教電部	85.04.	1年コース 28期
培訓部員	85.04.	1年コース 28期
	85.04.	1年コース 28期
培訓部員	85.04.	1年コース 28期
諮詢部員	85.04.	1年コース 28期
	85.04.	1年コース 28期
	85.04.	1年コース 28期
教師	86.4~87.3	1年コース 29期
教師	86.4~87.3	1年コース 29期
副部長	86.4~87.3	1年コース 29期
教師	86.4~87.3	1年コース 29期
教師	86.4~87.3	1年コース 29期
教師	86.4~87.3	1年コース 29期

6. 中国企業管理協会組織図

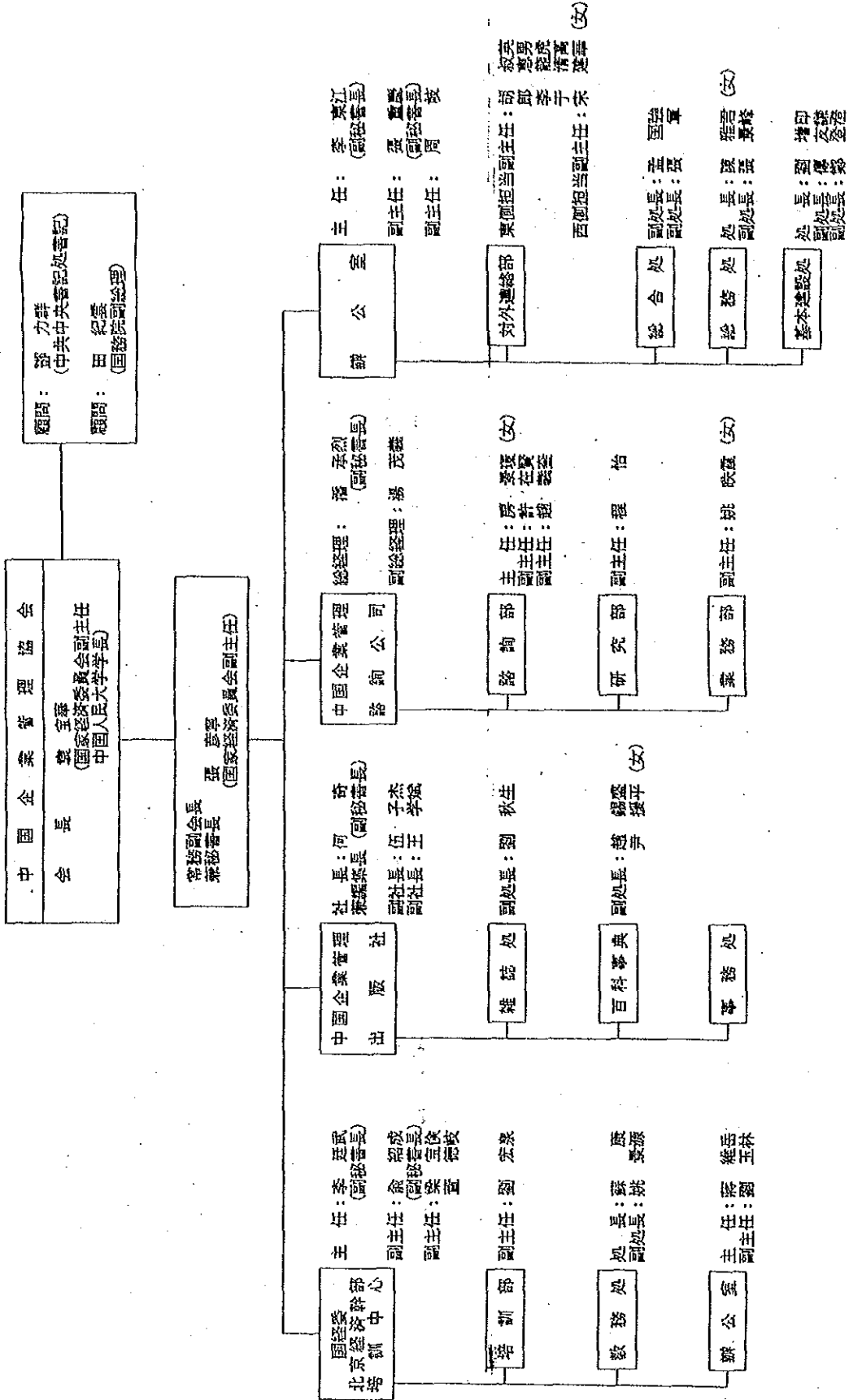
60.10.09

中華人民共和國

企業管理協会と経済委員会との関係

行政機関	専門機関	日本の類似機関
<p>(中央政府レベル)</p> <p><u>国家経済委員会</u></p> <p>(主任は呂 東)</p>	<p><u>中国企業管理協会</u></p> <p>(会長は国家経済委員会 副主任 袁 宝華)</p>	<p>通産省+経企庁</p> <p>日本生産性本部</p>
<p>(地方自治体レベル)</p> <p><u>各省 (特別市)</u> <u>経済委員会</u></p> <p>(特別市：北京、天津、 上海の3市)</p>	<p><u>各省 (特別市)</u> <u>管理協会</u></p> <p>(通常、会長は地方自治体経 済委員会の副主任クラス)</p>	<p>(地方自治体)</p> <p>(各地方生産性本部)</p>
<p>(主要工業都市レベル)</p> <p><u>各市経済委員会</u></p>	<p><u>主要都市企業管理協会</u></p> <p>(通常、会長は地方都市経 済委員会の副主任クラス)</p> <p>(企業管理協会は、中国の国家目標である “四つの現代化”の一つである“企業” の現代化を、企業管理の面から行政単位 のレベルで推進する専門機関である。)</p>	

中國企業管理協會 辦事處組織圖



7. 天津企業管理訓練センタープロジェクト概要表

〈中華人民共和國〉

(62. 4. 1 現在)

中国企業管理研修センター事業

(Enterprise Management Center)

1. R / D等署名日：58.10.11
2. 協 力 期 間：(R / D) 58.10.11 ~ 63.10.10
3. 所 在 地：天津市
4. 先方関係機関：中国企業管理協会
(China Enterprise Management Association)
5. 我が方協力機関：通産省(日本生産性本部、新日本製鉄、三菱重工業、日揮株式会社)
6. 要 請 の 背 景：1978年の全国人民代表大会以来、経済活動の活性化が中国における経済政策の根幹をなすテーマとして取り上げられ、更に今世紀末までに工業生産を4倍に拡大するとの具体的指標が明示され、1979年以降各都市に企業管理協会が設置され、生産性向上を各企業に普及する計画に取り組んでいる。かかる背景のもとで1980年に本体プロジェクトの要請がなされた。
7. 目 的 ・ 内 容：当該プロジェクトは企業管理分野における人的資源を開発し、企業の生産性向上(経営・管理の水準及び経済効率の向上)に資することを目的とし、生産管理(品質管理)、財務管理、マーケティング、及び情報システム等の研修コース等を開設する。技術協力期間は5年間とし、第1段階(センター建屋完成まで)は将来各種研修コースの教師となる中国人カウンターパートの要請及び教材の開発を行う。第2段階は各種研修コースを実施する中国人カウンターパートの技術指導及び教材の改訂等を行う。
8. 現 状 ・ 目 標 達 成：長期専門家(チーフアドバイザー、生産管理、品質管理、財務管理、マーケティング、情報システム)6名を昭和59年1月下旬より派遣中。3月15日センター建屋の完成に伴い、開所式が行われ、学生への協力が開始された。第1段階の教材開発(基礎)及びC / Pの人材養成は達成され、専門家派遣については後任交替(情報システム除き)があり、第2段階(開学式以降)の協力が開始されている。62年2月に第一回の卒業生を出した。
9. 問 題 点：1) 長期専門家の住居の確保についてはセンター内に確保されたが今後、専門家随伴家族に合ったスペースの要望が必要である。
10. 対 処 方 針：

11. 専門家派遣
研修員
機材供与
ローカル・
コスト負担
(L・C)

年 度	～56	57	58	59	60	61	合 計	62
長 期		0	6	1	6	6	19	
短 期		# 4	3	6	15	3	34	
研修員			2	5	7	5	19	
機 材			1	59	107	37	204	
L・C								

(注) 専門家・研修員は延人員、機材は金額で単位百万円。

: 長期調査員

12. 他の経済協力との関係(無償・有償・個別専門家派遣・その他)

:

13. 評 価 :

14. 調 査 団 :
- 1) 事前調査 57. 2.25 ~ 3. 9 (5名)
 - 2) 長期調査員 57.11. 1 ~ 11.30 (4名)
 - 3) 実施協議 58.10. 6 ~ 10.16 (7名)
 - 4) 計画打合 59. 7. 2 ~ 7.11 (5名)
 - 5) 巡回指導 60.12. 9 ~ 12.17 (5名)
 - 6) " 61. 1. 7 ~ 1.11 (1名)
 - 7) " 61. 3.10 ~ 3.16 (2名)
 - 8) " 61.12. 6 ~ 12.13 (5名)

15. 国 内 支 援 : 視聴覚等教材整備費 (10,000 千円)

